

富山情報ビジネス専門学校 学 則

第 1 章 総 則

第 1 条 (目的)

本校は、建学の精神に（別表 1）に則り、高潔な人間性を基礎とする豊かな教養と専門知識の修得に努め、変転する社会に貢献し得る人材の育成を目的とする。

第 2 条 (名称)

本校は、富山情報ビジネス専門学校と呼称する。

第 3 条 (所在地)

本校の所在地は富山県射水市三ヶ 576 番地とする。

第 4 条 (自己点検・評価)

1. 本校は、その教育における一層の充実を図り、本校の目的及び社会的使命を達成するため、本校における教育活動等の状況について自ら点検及び評価を行うものとする。
2. 前項の点検及び評価の実施に関し、必要な事項は別に定める。

第 2 章 課 程 及 び 定 員

第 5 条 (課程、学科、修業年限、定員等)

本校の課程、学科及び修業年限並びに定員は次のとおりとする。

課程名	学科名	コース名	修業年限	入学定員	総定員	昼夜の別	備考
工業専門課程	情報システム		2年	40人	80人	昼間	
	建築・デザイン		2年	20人	40人	昼間	
	先端技術研究科		1年	10人	10人	昼間	
	建築士研究科		1年	10人	10人	昼間	
商業実務 専門課程	Webクリエイター		2年	15人	30人	昼間	
	ホテル・ブライダル		2年	15人	30人	昼間	
	医療事務		2年	30人	60人	昼間	
	診療情報管理士研究		1年	20人	20人	昼間	
	インターナショナルビジネス		2年	20人	40人	昼間	
	情報ビジネス		2年	15人	30人	昼間	
文化・教養 専門課程	公務員		1年	10人	10人	昼間	
	日本語	1年半課程	1.5年	20人	40人	昼間	
		2年課程	2年	20人	40人	昼間	

第3章 学年・学期および休日

第6条（在籍年限）

各学科・各コースにおける在籍年限は前条の修業年限の倍を超えることはできない。
但し、日本語学科の在籍年限は修業年限とする。

第7条（学年）

学年は4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。
但し、日本語学科1年半課程においては、1年次は10月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

第8条（学期）

学年を分けて次の2学期とする。

前期：4月1日から 8月31日まで

後期：9月1日から 3月31日まで

但し、日本語学科においては、

前期：4月1日から 9月30日まで

後期：10月1日から3月31日まで

とする。

第9条（休日）

休日は次のとおりとする。

1. 日曜日および国民の祝日
2. 春期休暇：3月中旬から授業、学校行事等を勘案して校長が決定する
3. 夏期休暇：7月下旬から前項に準じて決定する
4. 冬期休暇：12月上旬から前々項に準じて決定する

第4章 学科課程・授業日数および卒業

第10条（履修課程）

本校の学科課程およびその履修科目ならびに付与する単位は別表2に定める。

第11条（履修方法）

1. 本校における各授業科目の単位数は、1単位の授業科目を45時間の学修を必要とする内容をもって構成し、次の基準により単位数を計算するものとする。

- (1) 講義及び演習については、15時間から30時間までの範囲で、定める時間の授業をもって1単位とする。
- (2) 実験、実習及び実技については、30時間から45時間までの範囲で、定める時間の授業をもって1単位とする。

2. 本校の1年間の授業日数は定期試験（前期期末および後期期末）等の日数を含め、30週にわたる150日を原則とする。但し、日本語学科は前期18週、後期18週で36週（180日）とする
3. 各授業科目の授業は15週にわたる期間を単位として行う。
但し、教育課程上特別の必要があると認められる場合は、一部変更することがある。

第12条（評価と単位認定）

1. 各授業科目の単位評価は100点満点とし、90点以上をA、80点以上をB、70点以上をC、60点以上をDとして単位を認定する。
60点未満をFとして単位を認定しない。採点にあたっては課題、授業姿勢、テスト・その他などの内容を考慮する。
2. 欠席時数が講義時数の20%を超える場合は当該科目を不認定とする。
3. 教育上有益と認めるときは、以下の内容を課程の修了に必要な総授業時数の2分の1を超えない範囲で、本校の履修科目として認定する。また、本校学生が入学前に、行った以下の内容でも、同等の扱いとする。
 - ①他の大学、短期大学または専門学校、その他教育機関との協議により履修した、当該大学等の授業科目。
 - ②専門課程に相当する教育を行っている外国の教育施設における学習成果。
 - ③認定社会通信教育、遠隔授業、技能審査、ボランティア、インターンシップ等。

第13条（追試験）

病気、就職選考、忌引、その他やむを得ない事由により受験しえなかった者は、試験終了後5日以内に事由を詳細に記し、証明資料を添えて校長あて追試験の許可を願い出ることができる。

第14条（追試験の実施）

学期末試験の追試験の実施は、1学期に1回行う。

第15条（受験心得）

学期末および卒業試験受験の心得

1. 不正行為を発見した時は退場を命じ採点は0点とする。
2. テキスト、ノート、参考書等の持ち込みの可否は授業毎に指示する。

第16条（進級）

以下の各学科において、進級に必要な単位数以上を取得した者および進級に必要な時間数以上を履修した者は、1年から2年に進級することができる。

学科名・コース名		進級に必要な時間数
情報システム学科		830 時間以上
建築・デザイン学科		800 時間以上
Web クリエイター学科		800 時間以上
ホテル・ブライダル学科		810 時間以上
医療事務学科		810 時間以上
インターナショナルビジネス学科		930 時間以上
情報ビジネス学科		800 時間以上
日本語学科	1 年半課程	400 時間以上
	2 年課程	800 時間以上

第 17 条 (卒業)

G P A (評定平均値) 2.0 以上で、卒業に必要な時間数以上を履修した者および卒業必修科目を認定されている者は卒業することができる。

(但し、G P A 算出方法は、第 12 条 A = 4、B = 3、C = 2、D = 1、F = 0 とし、この数字に科目の単位数を乗じたものを合計して総単位数で除したものとする。)

学科名		卒業に必要な単位数および時間数
情報システム学科		1700 時間以上
建築・デザイン学科		1700 時間以上
先端技術研究科		800 時間以上
建築士研究科		800 時間以上
Web クリエイター学科		1700 時間以上
ホテル・ブライダル学科		1710 時間以上
医療事務学科		1710 時間以上
診療情報管理士研究科		840 時間以上
インターナショナルビジネス学科		1755 時間以上
情報ビジネス学科		1710 時間以上
公務員学科		1080 時間以上
日本語学科	1 年半課程	1200 時間以上
	2 年課程	1600 時間以上

第 18 条 (留年)

進級または卒業できないものは留年とする。留年となった者は、進級、卒業に必要な不足単位について再履修するものとする。

第 19 条（卒業証書の授与・称号の授与）

1. 本校所定の課程を修了したと認められる者に対し卒業証書を授与する。
2. 以下の学科を卒業した者には専門士の称号を授与する。

課 程 名	学 科 名
工業専門課程	情報システム学科 建築・デザイン学科
商業実務専門課程	Web クリエイター学科 ホテル・ブライダル学科 医療事務学科 インターナショナルビジネス学科 情報ビジネス学科

第 5 章 入学・休学および退学

第 20 条（入学資格）

本校の入学試験受験資格は次のとおりとする。

1. 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者若しくは通常の課程による 12 年の学校教育を修了した者（通常の課程以外の課程によりこれに相当する学校教育を修了した者を含む。）又は文部科学大臣の定めるところにより、これと同等以上の学力があると認められた者とする。
2. 日本語学科においては、上記第 1 項に加えて日本語の学習経験がある者とする。

第 21 条（出願手続）

入学志願者は所定の願書および必要書類に受験料 20,000 円を添えて出願手続をしなければならない。

第 22 条（入学者の選考）

前条の出願手続きを終了した入学志願者については、本校募集要項の定めるところにより、入学選考を行う。

第 23 条（入学許可ならびに手続）

1. 入学選考合格者は、所定の期日までに保証人を定め、別表 3-1 の当該学科の学費を納入して入学手続を完了しなければならない。
学費とは、入学金・授業料・施設設備費・演習充実費とする。但し、日本語学科においては、入学金・授業料とする。
日本語学科においては、学費と併せ、諸経費を納入しなければならない。
2. 4 月入学生においては、入学年度の前年度 3 月 31 日までに入学を辞退した場合は、納入された学費のうち、入学金以外を返金する。日本語学科 1 年半課程の 10 月入学生においては、入学年度

の9月30日までに入学辞退の場合は、入学金以外を返金する。

3. 保証人は、本人の在学中の学費、生活、勉学、素行のすべてに責任を負うものとし、本人の保護者またはそれに代わるべき人でなければならない。
4. 保証人が死亡または前項の要件を欠いたときは直ちに保証人の変更を届けなければならない。

第24条（休学）

1. 学生が病気その他、本校が認めるやむをえない事情のため、前期又は後期の全期間にわたり修学することができないときはこれを証明する書類を添えて保証人連署の上、休学届を提出しなければならない。但し、休学期間は原則として連続2年を超えることはできない。
2. 休学者は、休学した学期の試験を受けることはできない。
3. 休学中の「学期」の学費（入学金を除く）については納付を免除する。但し、既に納付済の場合は返還しない。
4. 休学者が復学を希望する場合は復学届を提出しなければならない。復学する場合は原級に復するものとし、当該「学期」の学費（入学金を除く）を納付しなければならない。

第25条（退学・転科・転学）

1. 退学しようとする場合は、保証人連署の上、退学届を提出し、許可を受けなければならない。
2. 退学した者で、3年以内に再入学を願い出た者に対しては、在学時の成績を考慮し、審査を経てこれを許可することがある。
この場合、退学以前の在学期間および修得科目は所定の在学年限および修得科目にそれぞれ算入する。
3. 本校の学生が学内の転科を希望するときは、審査を経てこれを許可することがある。
4. 他の大学、短期大学、専門学校から本校に転入学を希望する者があるときは、選考の上これを認めることがある。
既修得単位の認定は、学則第12条第3項に基づくものとする。
5. 本校から他の専門学校へ転学しようとする者は、校長の許可を受けなければならない。

第26条（除籍）

学生が次の各号に該当する場合は除籍される。

1. 病気その他の理由で学業の継続が不可能と認められたとき。
2. 延納・分納の届けが無く、学費を納入しないとき。
3. 学生が死亡したとき。

第6章 教 職 員

第27条（教職員）

1. 本校には次の教職員を置く。

校長

専任教員

講師

事務職員

教務職員

校医

校務員

2. 教員の定員、資格は専修学校設置基準による。
3. 校長は校務を総括し、所属教職員を監督する。
4. 校長を除く教職員は校務を分担する。

第7章 学 費 等

第28条（学費）

本校の受験料は入学願書提出時に納付する。また、学費は別表（3-1）のとおりとする。

第29条（学費の納入）

1. 学費は所定の期日までに納入しなければならない。
2. 学費を所定の期日までに納入できないやむをえない事情があるときは、延納・分納を認めることがある。
3. 既に納入された学費は、第23条第2項に該当する場合以外は返金しない。ただし、明らかに重複または超過納入になった場合やその他校長が必要と認めた場合にはこの限りではない。

第8章 聴講生および外国人留学生

第30条（聴講生）

1. 本校専門課程の学科目の聴講を希望する者に対しては、収容人員に余裕がある場合に限り、聴講生として聴講を許可する。また、必要と認めたときは、その履修科目に対して単位を与えることができる。
2. 聴講生料は別表（3-2）のとおりとする。
3. 学則第20条の入学資格を有する外国人で、留学を希望する者は、選考の上受け入れることがある。

第9章 懲 戒

第31条（懲戒）

次の各号の1に該当する学生に対しては、学校長がこれを懲戒する。

1. 性行不良で改悛の見込みがないと認められる者
2. 修学努力が著しく不足していると認められる者
3. 正当な理由なくして出席が常でない者
4. 学内の秩序を乱しその他学生としての本分に反した者

第32条（懲戒の種別）

懲戒はその行為の軽重に従い、訓戒、停学および退学の3種類とする。

第10章 奨 学 生

第33条（奨学生）

本校学生で、学業、人物、健康とも優れた者を奨学生として援助する。

第11章 健 康 診 断

第34条（健康診断）

本校学生に年1回健康診断を実施する。

第12章 附 帯 教 育

第35条（附帯教育）

必要がある時は、国際交流、生涯学習教育等の附帯教育を行う。また、附帯教育の科目、単位及び受講料は別に定める。

附 則

この学則は、平成8年4月1日より施行する。

附 則

1. この学則は、平成9年4月1日から施行する。但し、第19条及び第28条の改正規定は、富山県知事への届出が受理された日（平成9年3月21日届出受理）から施行する。
2. 第19条の改正規定の施行の際、現に国際マーケティング学科及び経営学科に籍を有する学生については、改正後の第19条にかかわらず、なお従前の例による。

附 則

この学則は、平成10年4月1日より施行する。

附 則

この学則は、平成 11 年 3 月 1 日より施行する。

附 則

この学則は、平成 12 年 4 月 1 日から施行する。但し、第 5 条、第 19 条改訂規定の施行の際は、平成 12 年 4 月 1 日以降に入学する学生について適用し、同年 3 月 31 日現在在籍する学生については、なお従前の例による。

附 則

この学則は、平成 13 年 4 月 1 日から施行する。但し、第 5 条改定規定の施行に関しては、平成 13 年 4 月 1 日以降に入学する学生について適用し、同年 3 月 31 日現在在籍する学生については、なお従前の例による。

附 則

この学則は、平成 14 年 4 月 1 日より施行する。

附 則

この学則は、平成 14 年 3 月 15 日より施行する。

附 則

この学則は、平成 15 年 4 月 1 日より施行する。但し、第 5 条改定規定の施行に関しては、平成 15 年 4 月 1 日以降に入学する学生について適用し、同年 3 月 31 日現在在籍する学生については、なお従前の例による。

附 則

この学則は、平成 15 年 3 月 14 日より施行する。

附 則

この学則は、平成 16 年 3 月 13 日より施行する。

附 則

この学則は、平成 17 年 4 月 1 日より施行する。但し、第 5 条改定規定の施行に関しては、平成 17 年 4 月 1 日以降に入学する学生について適用し、同年 3 月 31 日現在在籍する学生については、なお従前の例による。

また、第 29 条改定規定の施行に関しては、平成 16 年 10 月 1 日より施行する。

附 則

この学則は、平成 17 年 3 月 14 日より施行する。

附 則

この学則は、平成 18 年 4 月 1 日より施行する。但し、第 5 条・第 6 条・27 条改定規定の施行に関しては、平成 18 年 4 月 1 日以降に入学する学生について適用し、同年 3 月 31 日現在在籍する学生については、なお従前の学則による。

附 則

この学則は、平成 19 年 4 月 1 日より施行する。但し、第 5 条・第 6 条・第 10 条・第 16 条・第 17 条・第 27 条改定規定の施行に関しては、平成 19 年 4 月 1 日以降に入学する学生について適用し、同年 3

月 31 日現在在籍する学生については、なお従前の学則による。

また、第 3 条、第 8 条、第 9 条に関しては、学則受理の日より施行する。

附 則

この学則は、平成 20 年 4 月 1 日より施行する。但し、第 19 条の施行に関しては、学則届出の日（平成 19 年 10 月 22 日）より施行する。

附 則

この学則は、平成 21 年 4 月 1 日より施行する。但し、第 5 条・第 6 条・第 16 条・第 17 条・第 19 条改定規定の施行に関しては、平成 21 年 4 月 1 日以降に入学する学生について適用し、同年 3 月 31 日現在在籍する学生については、なお従前の学則による。

附 則

この学則は、平成 22 年 4 月 1 日より施行する。

但し、第 19 条の施行に関しては、学則届出の日より施行する。

附 則

この学則は、平成 22 年 4 月 1 日より施行する。

但し、第 10 条、第 16 条の施行に関しては、学則届出の日より施行する。

附 則

この学則は、平成 23 年 4 月 1 日より施行する

但し、第 10 条改定規定の施行に関しては、平成 23 年 4 月 1 日以降に入学する学生について適用し、同年 3 月 31 日現在在籍する学生については、なお従前の学則による。

附 則

この学則は、平成 24 年 4 月 1 日より施行する。

但し、第 5 条、第 6 条、第 7 条、第 8 条、第 16 条及び第 17 条の改定規定の施行に関しては、平成 24 年 4 月 1 日以降に入学する学生について適用し、同年 3 月 31 日現在在籍する学生については、なお従前の学則による。

附 則

この学則は、平成 25 年 4 月 1 日より施行する。

但し、第 5 条、第 6 条、第 17 条、第 19 条、第 20 条、第 22 条、第 25 条、第 27 条、第 28 条の改定規定の施行に関しては、平成 25 年 4 月 1 日以降に入学する学生について適用し、同年 3 月 31 日現在在籍する学生については、なお従前の学則による。

附 則

この学則は、平成 26 年 4 月 1 日より施行する。

附 則

この学則は、平成 26 年 4 月 1 日より施行する。

但し、第 5 条、第 6 条、第 11 条、第 16 条、第 17 条、第 19 条、第 23 条、の改定規定の施行に関しては、平成 26 年 4 月 1 日以降に入学する学生について適用し、同年 3 月 31 日現在在籍する学生については、なお従前の学則による。

附 則

この学則は、平成 27 年 4 月 1 日より施行する。

附 則

この学則は、平成 28 年 4 月 1 日より施行する。

但し、第 5 条、第 16 条、第 17 条、第 19 条、第 23 条、の改定規定の施行に関しては、平成 28 年 4 月 1 日以降に入学する学生について適用し、同年 3 月 31 日現在在籍する学生については、なお従前の学則による。

附 則

この学則は、平成 29 年 4 月 1 日より施行する。

附 則

この学則は、平成 30 年 4 月 1 日より施行する。

但し、第 16 条、第 17 条の改定規程の施行に関しては、平成 30 年 4 月 1 日以降に入学する学生について適用し、同年 3 月 31 日現在在籍する学生については、なお従前の学則による。

附 則

この学則は、平成 31 年 4 月 1 日より施行する。

但し、第 5 条、第 10 条、第 16 条、第 17 条、第 28 条の改定規程の施行に関しては、平成 31 年 4 月 1 日以降に入学する学生について適用し、同年 3 月 31 日現在在籍する学生については、なお従前の学則による。

附 則

この学則は、令和 2 年 4 月 1 日より施行する。

但し、第 19 条の施行に関しては、学則届出の日より施行する。

第 5 条、第 10 条、第 12 条、第 16 条、第 17 条、第 23 条、第 25 条、第 28 条の改定規程の施行に関しては、令和 2 年 4 月 1 日以降に入学する学生について適用し、同年 3 月 31 日現在在籍する学生については、なお従前の学則による。

附 則

この学則は、令和 3 年 4 月 1 日より施行する。

但し、第 19 条の施行に関しては、学則届出の日より施行する。

第 5 条、第 10 条、第 16 条、第 17 条、第 23 条、第 28 条の改定規程の施行に関しては、令和 3 年 4 月 1 日以降に入学する学生について適用し、同年 3 月 31 日現在在籍する学生については、なお従前の学則による。

附 則

この学則は、令和 4 年 4 月 1 日より施行する。

但し、第 5 条、第 10 条、第 16 条、第 17 条、第 19 条、第 23 条、第 28 条の改定規程の施行に関しては、令和 4 年 4 月 1 日以降に入学する学生について適用し、同年 3 月 31 日現在在籍する学生については、なお従前の学則による。

附 則

この学則は、令和5年4月1日より施行する。

但し、第5条、第10条、第16条、第17条、第19条、第23条、第28条の改定規程の施行に関しては、令和5年4月1日以降に入学する学生について適用し、同年3月31日現在在籍する学生については、なお従前の学則による。

附 則

この学則は、令和6年4月1日より施行する。

但し、第5条、第10条、第16条、第17条、第19条、第23条、第28条の改定規程の施行に関しては、令和6年4月1日以降に入学する学生について適用し、同年3月31日現在在籍する学生については、なお従前の学則による。

カリキュラム編成表（授業科目等の概要）

令和6年度 工業専門課程（情報システム学科AIプログラミング専攻）														
科目区分①	科目区分②	年次	学期	分類			授業科目名	授業科目概要	授業時数	単位数	授業方法			
				必修	選択必修	自由選択					講義	演習	実験・実習・実技	
専門 AIプログラミング専攻 システムエンジニア専攻 共通	コンピュータ知識	1	前期	○			コンピュータ概論ⅠA	コンピュータの構造・原理・周辺機器の理解・コンピュータシステムに関する基礎知識の理解・ネットワークシステム・データベースシステムに関する基礎知識を理解する。	60	4	○			
		1	前期	○			システム開発と情報化ⅠA	要求仕様に沿ったコンピュータシステムを開発するための基本的知識を修得することを目標とする。また後半では、主に情報処理技術者試験のマネジメント・ストラテジ分野の知識を中心に学ぶ。	90	6	○			
		1	前期	○			アルゴリズムとデータ構造ⅠA	論理的な思考の訓練を行う。プログラミング基礎であるアルゴリズムを理解することで論理的思考の訓練を行うとともに問題解決の手順を理解し、情報処理技術者試験の基礎知識を学ぶ。	60	4	○			
		1	後期	○			アルゴリズムとデータ構造ⅠB	論理的な思考の訓練を行う。プログラミング基礎であるアルゴリズムを理解することで論理的思考の訓練を行うとともに問題解決の手順を理解し、情報処理技術者試験の基礎知識を学ぶ。	60	4	○			
		1	前期	○			情報処理演習ⅠA	問題の分野別の講義と模擬問題を実際に行い、解答、解説を行うことで情報処理技術者試験（国家資格）の合格を目指す。	30	1		○		
		1	後期	○			情報処理演習ⅠB	問題の分野別の講義と模擬問題を実際に行い、解答、解説を行うことで情報処理技術者試験（国家資格）の合格を目指す。	60	2		○		
		1	後期	○			情報セキュリティ基礎ⅠA	近年多様化・巧妙化する様々な脅威について知り、情報資産を正常に維持するための基本的な知識の理解と習得を目指すとともに、情報処理技術者試験の基礎知識を学ぶ。	30	1		○		
		1	前期	○			Java基礎ⅠA	現在、開発言語の主流となったJava言語の特徴と、適用業務を理解し、Javaプログラム演習を通して学習する。	120	4		○		
		1	後期	○			Java基礎ⅠB	現在、開発言語の主流となったJava言語の特徴と、適用業務を理解し、Javaプログラム演習を通して学習する。	120	4		○		
		1	後期	○			Web演習ⅠA	XHTMLとスタイルシート、JavaScriptを使ったWebページ作りを実際にテキストエディタでタグを記述しながら学びます。	30	1		○		
		2	前期	○			Web演習ⅡA	XHTMLとスタイルシート、JavaScriptを使ったWebページ作りを実際にテキストエディタでタグを記述しながら学びます。	30	1		○		
		1	通年	○			総合演習ⅠA	校外研修や校内での企業連携授業などの学科活動を実施し、今後の就職への意識の向上や業界理解を促進する。また、校外研修における実践的なビジネスマナーを学ぶ。	60	2		○		
		2	通年	○			総合演習ⅡA	地域連携等の学外での学生が主体的に行う活動を通して、学修成果を表現する。	30	1		○		
		1	後期	○			インターンシップⅠA	企業に体験実習で実践的な技術や就業に必要なコミュニケーションを身につける。	45	1			○	
		2	通年	○			最新IT技術ⅡA	最新IT技術を調査して、将来のIT動向を研究する。	30	1		○		
		AIプログラミング専攻	プログラム開発技術習得	1	後期	○			AI概論ⅠA	AIの定義や種類、特徴、歴史等の基礎知識についての理解を深めるとともに、検定合格を目指す。	60	4	○	
1	後期			○			AI基礎ⅠA	AIプログラミング言語の基本文法の習得を図る。	30	1		○		
2	前期			○			サーバプログラミングⅡA	オープンソースソフトウェアを利用した、サーバーサイド技術を習得する。	30	1		○		
2	後期			○			サーバプログラミングⅡB	オープンソースソフトウェアを利用した、サーバーサイド技術を習得する。	30	1		○		
2	前期			○			AI演習ⅡA	AIプログラミング言語を用いた標準ライブラリを活用し、AIプログラムを実装できることを目標とする。	120	4		○		
2	後期			○			AI演習ⅡB	AIプログラミング言語を用いた標準ライブラリを活用し、AIプログラムを実装できることを目標とする。AIプログラム開発における課題の解決法を事例的に学ぶ。	60	2		○		
2	前期			○			プログラム開発技法ⅡA	統合開発環境を利用して、SQL Serverを使用したデータベースのシステムを構築し、データベースシステム開発手法を学習する。	120	4		○		
2	後期			○			プログラム開発技法ⅡB	統合開発環境を利用して、SQL Serverを使用したデータベースのシステムを構築しデータベースシステム開発手法を学習する。プログラム開発における課題の解決法を事例的に学ぶ。	60	2		○		
2	後期			○			プログラムPBLⅡA	プログラム開発をグループで行い、課題解決に取り組む。	120	4		○		
2	後期			○			プログラムPBLⅡB	工程管理と成果発表に向けてテスト・資料製作・発表を行う。	60	2		○		
システムエンジニア専攻	ノーコード開発	2	前期	○			ノーコード開発ⅡA	ノーコード開発システムを利用した開発スキルを習得する。	30	1		○		
		応用情報処理技術者試験資格取得	2	前期	○			データベース基礎ⅡA	オープンソースデータベースを題材に、データベースの基本知識及び使用方法の習得を目的とする。	30	1		○	
			2	前期	○			ネットワーク基礎ⅡA	一般的に会社で利用されているWindowsネットワーク基礎知識に関して、実習を通して学習する。	30	1		○	
			2	後期	○			応用情報処理演習ⅡA	国家試験の情報技術者試験の合格を目指す。午前・午後問題の分野別の講義と模擬問題を実際に行い、解答、解説を行う。試験に対する傾向と対策を行う。	60	2		○	
			2	後期	○			応用情報処理演習ⅡB	国家試験の情報技術者試験の合格を目指す。午前・午後問題の分野別の講義と模擬問題を実際に行い、解答、解説を行う。試験に対する傾向と対策を行う。	60	2		○	
	システム設計	1	後期	○			クラウド基礎ⅠA	クラウド利用に必要な知識と活用方法を習得する。	30	1		○		
		2	前期	○			システム開発技法ⅡA	ウォーターフォール型のシステム開発手順における外部設計・内部設計の基本知識から実践まで、課題を通して理解を深める。	60	2		○		
		2	前期	○			システムマネジメントⅡA	企業で活用されている情報システムの構造を理解し、その構築プロセスや開発手法、プロジェクト管理など、システム開発に求められる要素を学ぶ。	30	1		○		
		2	後期	○			システムマネジメントⅡB	企業で活用されている情報システムの構造を理解し、その構築プロセスや開発手法、プロジェクト管理など、システム開発に求められる要素を学ぶ。	30	1		○		
	ビジネスインダストリー及びトレンドへの関心	2	前期	○			IT戦略概論ⅡA	システム開発についての企画を検討する。検討の際にはユーザーにとっての中長期的な戦略に沿ったIT提案となるように検討を行う。	30	1		○		
		2	前期	○			業務分析ⅡA	業務用アプリケーションを作成するために必要な基幹業務のあるべき姿を理解して、業務改善に必要な知識を身に付ける。	30	1		○		
		2	後期	○			業務分析ⅡB	業務用アプリケーションを作成するために必要な基幹業務のあるべき姿を理解して、業務改善に必要な知識を身に付ける。	30	1		○		
	卒業研究	2	前期	○			技術発表演習ⅡA	様々なビジネスシーンに必要なパソコンを利用したプレゼンテーションの技法を学ぶ。	30	1		○		
		2	後期	○			システムPBLⅡA	システム化できる課題を見つけ、システム企画の提案をグループで行う。	90	3		○		
2		後期	○			システムPBLⅡB	システム化できる課題を見つけ、システム企画の提案をグループで行う。	90	3		○			
2		後期	○			システムPBLⅡC	工程管理と成果発表に向けてテスト・資料製作・発表を行う。	30	1		○			

ゲームクリエイター専攻	1	前期	○	C#演習 I A	C#を用いてコードを書き、基本制御構造、メソッド、クラス、スコープを理解するために訓練します。	150	5		○	
	1	後期	○	C#演習 I B	C#においてオブジェクト指向プログラミングについて、掘り下げて学習します。また、オブジェクト指向プログラミングで簡単なゲームを制作します。	120	4		○	
	2	前期	○	ゲーム Java II A	Javaの基本的なプログラミングを学びつつ、オブジェクト指向の理論を学習します。	30	1		○	
	2	後期	○	ゲーム Java II B	Javaの応用的なプログラミングを学びつつ、プログラミングの保守性、可読性の向上について学習します。	30	1		○	
	1	前期	○	Unity I A	Unity の基本操作とC#の基礎を学習します。2Dのアクションゲームを制作します。	150	5		○	
	1	後期	○	Unity I B	Unity を用いてゲーム制作を学習します。簡単な3Dゲーム制作に取り組みます。	180	6		○	
	1	後期	○	作品制作 I A	Unityで学んだことを生かし、各自1作品以上のオリジナルゲーム制作を行います。	30	1		○	
	1	後期	○	ゲームプログラミング I A	C++、Unreal Engineなどを用いてのゲーム制作理論を学びます。	60	2		○	
	2	前期	○	ゲームプログラミング II A	C++、Unreal Engineなどを用いてのゲーム制作理論を学びます。	120	4		○	
	2	後期	○	ゲームプログラミング II B	C++、Unreal Engineなどを用いてのゲーム制作理論を学びます。	60	2		○	
	1	前期	○	ゲームプランニング I A	ゲーム制作に必要な企画、仕様書について学習します。	30	1		○	
	1	後期	○	ゲームプランニング I B	ゲーム制作に必要な企画、仕様書について学習します。	30	1		○	
	2	前期	○	ゲームプランニング II A	ゲーム制作に必要な企画、仕様書について学習します。そして、チームにてオリジナルゲームの企画、仕様書作成を行います。	30	1		○	
	1	前期	○	CG I A	2D ゲームに必要なグラフィック素材を制作しながら、グラフィックツールの操作方法を学習します。また、学生各自が制作するゲームの素材を制作します。	30	1		○	
	1	後期	○	CG I B	3D ゲームのグラフィックの制作法を学習し、プログラミングの授業で使われるオブジェクトの作成を行います。それとともに、ゲーム会社で働く際にプログラマーとしても必要なグラフィックの知識、ゲームを制作してゆく上でのデザイナーとの連携のしかたなども学びます。	30	1		○	
	2	前期	○	コンピュータ基礎 II A	情報処理技術者能力認定試験 3 級の試験対策を行います。また、コンピュータ全般（ハードウェア、ソフトウェア）の知識修得もを行います。	30	2	○		
	2	前期	○	オンラインゲーム制作 II A	オンラインゲーム制作について、その理論や構築方法を学ぶ	60	2		○	
	2	後期	○	オンラインゲーム制作 II B	オンラインゲーム制作について、その理論や構築方法を学ぶ	30	1		○	
	2	前期	○	サウンド II A	ゲームのBGMや効果音の制作をおこないます (企業連携科目)	60	2		○	
	2	前期	○	インターンシップ II A	企業に体験実習で実践的な技術や就業に必要なコミュニケーションを身に付ける。	45	1		○	
	2	前期	○	総合演習 II A	地域連携等の学外での学生が主体的に行う活動を通して、学修成果を表現する。	30	1		○	
	2	後期	○	卒業制作 II A	地域連携事業を加味し、チームでオリジナルゲーム制作を目的とします。様々なプログラムごとに作業を分担し制作します。一月毎に進捗状況をクラス内で確認し、最終的に作成したゲームを卒業制作発表会にて発表します。	90	3		○	
	2	後期	○	卒業制作 II B	地域連携事業を加味し、チームでオリジナルゲーム制作を目的とします。様々なプログラムごとに作業を分担し制作します。一月毎に進捗状況をクラス内で確認し、最終的に作成したゲームを卒業制作発表会にて発表します。	90	3		○	
	一般	1	前期	○	表現力 I A	コミュニケーション授業や演劇を学び、自己表現力や社会性を身に付ける。	30	1		○
		1	前期	○	就職支援 I A	「将来の仕事や人生についてどのように考えたら良いか」「将来の目標を実現するためには何が必要か」等、キャリアを考える上でヒントや気づきを得られるよう、様々な取り組みを行う。就職に向けて、必要な準備を段階的に進めていく。	30	1		○
		1	後期	○	就職支援 I B	「将来の仕事や人生についてどのように考えたら良いか」「将来の目標を実現するためには何が必要か」等、キャリアを考える上でヒントや気づきを得られるよう、様々な取り組みを行う。就職に向けて、必要な準備を段階的に進めていく。	30	1		○
2		前期	○	就職支援 II A	「将来の仕事や人生についてどのように考えたら良いか」「将来の目標を実現するためには何が必要か」等、キャリアを考える上でヒントや気づきを得られるよう、様々な取り組みを行う。就職に向けて、必要な準備を段階的に進めていく。	30	1		○	
2		後期	○	就職支援 II B	「将来の仕事や人生についてどのように考えたら良いか」「将来の目標を実現するためには何が必要か」等、キャリアを考える上でヒントや気づきを得られるよう、様々な取り組みを行う。就職に向けて、必要な準備を段階的に進めていく。	30	1		○	
1		前期	○	データマーケティング I A	マーケティングの基本的な理論や手法を学び、マーケティングに関する体系的な理解を促し、マーケティングを進める上で必要なデータの取り扱いに関する知識・技能と観点を演習によって身に付け、データマーケティングとしての基礎的素養を深める。	30	1		○	
1		後期	○	データマーケティング I B	マーケティングの基本的な理論や手法を学び、マーケティングに関する体系的な理解を促し、マーケティングを進める上で必要なデータの取り扱いに関する知識・技能と観点を演習によって身に付け、データマーケティングとしての基礎的素養を深める。	30	1		○	
2		前期	○	課題解決チャレンジ II A	企業が提示する課題に学生がチャレンジする。表現力、分析力を活かして企業の課題解決に取り組み、スピード感をもってレスポンスの速さを育む。いくつかの学科混合グループで課題に取り組み、異なる視点からアイデアを出すことにより、クリエイティビティを養う。	30	1		○	
2		後期	○	課題解決チャレンジ II B	企業が提示する課題に学生がチャレンジする。表現力、分析力を活かして企業の課題解決に取り組み、スピード感をもってレスポンスの速さを育む。いくつかの学科混合グループで課題に取り組み、異なる視点からアイデアを出すことにより、クリエイティビティを養う。	30	1		○	
合計						73 科目				

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
卒業要件：1700授業時間以上取得 GPA 2.0以上 必修科目を取得していること ・「合計73科目」はすべての専攻の合計 ・専攻別： A I プログラミング専攻：34科目 1815授業時間 システムエンジニア専攻：40科目 1815授業時間 ゲームクリエイター専攻：32科目 1785授業時間		1 学年の学期区分	2 期
		1 学期の授業期間	15 週

カリキュラム編成表(授業科目等の概要)

令和6年度 工業専門課程 (建築・デザイン学科)

科目区分①	科目区分②	年次	学期	分類			授業科目名	授業科目概要	授業時数	単位数	授業方法		
				必修	選択必修	自由選択					講義	演習	実験・実習・実技
建築学	建築計画の知識	1	前期	○			建築計画ⅠA	建築計画の基本となる住宅について学ぶ。また建築を設計するうえで基本となるスケール感覚を身につけ、人間が生活する空間を学ぶ。	60	4	○		
		1	後期	○			建築計画ⅠB	建築計画の基本となる住宅について学ぶ。また建築を設計するうえで基本となるスケール感覚を身につけ、人間が生活する空間を学ぶ。	30	2	○		
		2	前期	○			建築計画ⅡA	公共機関のうち教育施設(幼稚園、小中学校等)や外部空間、自然環境と建築の関係等を学ぶ	30	2	○		
		2	後期		○		建築士対策ⅡA(計画 2級)	2級建築士の学科試験Ⅰ(計画)対策	30	1		○	
		2	後期		○		建築士対策ⅡA(計画 1級)	1級建築士の学科試験Ⅰ(計画)対策	30	1		○	
	建築環境設備の知識	2	前期	○			建築環境工学ⅡA	建築環境工学の基礎的な知識として、熱、光、空気、音の分野について学習し、知識の習得を行う	30	2	○		
		2	前期	○			建築設備ⅡA	建築現場において使用される設備機器について基本的な内容を学ぶ	30	2	○		
		2	後期		○		建築士対策ⅡA(環境設備 1級)	1級建築士の学科試験Ⅱ(環境設備)対策	60	2		○	
	建築法規の知識	1	前期	○			建築法規ⅠA	建築物の設計、施工に必要不可欠である建築基準法と関係法令について条文の主旨、内容の理解を図る	30	2	○		
		1	後期	○			建築法規ⅠB	建築物の設計、施工に必要不可欠である建築基準法と関係法令について条文の主旨、内容の理解を図る	30	2	○		
		2	前期	○			建築法規ⅡA	建築物の設計、施工に必要不可欠である建築基準法と関係法令について条文の主旨、内容の理解を図る	30	2	○		
		2	後期		○		建築士対策ⅡA(法規 2級)	2級建築士の学科試験Ⅱ(法規)対策	30	1		○	
		2	後期		○		建築士対策ⅡA(法規 1級)	1級建築士の学科試験Ⅲ(法規)対策	60	2		○	
	建築構造の知識	1	前期	○			建築構造力学ⅠA	「建築力学の基礎概念である力・力のモーメント」「力のつり合いなどの静力学の基礎」について学ぶ	30	2	○		
		1	後期	○			建築構造力学ⅠB	「建築力学の基礎概念である力・力のモーメント」「力のつり合いなどの静力学の基礎」について学ぶ	30	2	○		
		1	前期	○			建築一般構造ⅠA	建築構造は、建物の成り立ちであり、建築物の各部と全体が、どのような材料を用いて、どのように形造られているか学ぶ。	30	2	○		
		1	後期	○			建築一般構造ⅠB	建築構造は、建物の成り立ちであり、建築物の各部と全体が、どのような材料を用いて、どのように形造られているか学ぶ。	30	2	○		
		1	前期	○			建築材料ⅠA	建築材料のうち、構造材料である木材、コンクリート材料、金属材料(鋼材)の性質について学ぶ	30	2	○		
		1	後期	○			建築材料ⅠB	建築材料のうち、構造材料である木材、コンクリート材料、金属材料(鋼材)の性質について学ぶ	30	2	○		
		2	前期	○			建築構造力学ⅡA	「静定構造物の応力の求め方」「トラス構造の解析方法」について学ぶ	30	2	○		
		2	後期		○		建築士対策ⅡA(構造 2級)	2級建築士の学科試験Ⅲ(構造)対策	30	1		○	
	建築施工の知識	2	後期		○		建築士対策ⅡA(構造 1級)	1級建築士の学科試験Ⅳ(構造)対策	60	2		○	
		1	前期	○			建築施工ⅠA	建築施工の位置づけと建築生産の基本理念を理解する。建築工事を構成する各工種について、その内容と全体の施工計画について概要を理解する	30	2	○		
		1	後期	○			建築施工ⅠB	建築施工の位置づけと建築生産の基本理念を理解する。建築工事を構成する各工種について、その内容と全体の施工計画について概要を理解する	30	2	○		
		2	前期	○			建築施工ⅡA	建築施工計画についての概要を理解し、建築施工を構成する各工種についてその内容を理解する	30	2	○		
		2	後期		○		建築士対策ⅡA(施工 2級)	2級建築士の学科試験Ⅳ(施工)対策	30	1		○	
	建築設計製図の知識	2	後期		○		建築士対策ⅡA(施工 1級)	1級建築士の学科試験Ⅴ(施工)対策	30	1		○	
		1	前期	○			建築設計製図ⅠA	製図道具の使い方、線の書き方を習得し、木造建築の一般図の種類と表現方法・内容理解を目指す。	60	2	○		
		1	後期	○			建築設計製図ⅠB	配置図、平面図、断面図、立面図、矩計図の描き方を習得し、各自で条件にあったフリープランを作成する	60	2	○		
		2	前期	○			建築設計製図ⅡA	配置図、平面図、断面図、立面図、矩計図の描き方を習得し、各自で条件にあったフリープランを作成する	60	2	○		
		2	後期		○		建築士対策ⅡA(製図 2級)	2級建築士の製図課題レベルのエスキース・製図能力の習得	60	2		○	
	プレゼンテーション力の習得	2	後期		○		建築士対策ⅡA(製図 1級)	1級建築士の製図課題レベルのエスキース・製図能力の習得	60	2		○	
		1	前期	○			Photoshop・illustratorⅠA	Photoshopとillustratorの基本操作を修得し、Photoshop、illustratorを使用して作品を製作する	30	1		○	
	CADの知識習得	1	後期	○			Photoshop・illustratorⅠB	Photoshopとillustratorの基本操作を修得し、Photoshop、illustratorを使用して作品を製作する	30	1		○	
		1	前期	○			JWCADⅠA	建築設計の基本的な考え方について学ぶ。JWCADの基本操作・各種設定・作図技術・印刷方法の習得	60	2	○		
	建築士専攻科目	デッサン力の習得	1	後期	○		JWCADⅠB	建築設計の基本的な考え方について学ぶ。JWCADの基本操作・各種設定・作図技術・印刷方法の習得	60	2	○		
			1	前期	○		建築図学ⅠA	自分の意図した空間・形態を的確に表現する。手法を実際の建築物と参照しながら習得する。	30	1		○	
	卒業成果の	卒業成果の	1	後期	○		建築図学ⅠB	自分の意図した空間・形態を的確に表現する。手法を実際の建築物と参照しながら習得する。	30	1		○	
			2	前期	○		専攻ゼミⅡA	計画、設計、作品作りをゼミ形式にて実施する。本校における学びの集大成としてその成果をまとめる。	60	2		○	

専門		プレゼンテーション	2	後期			○	専攻ゼミⅡB(卒業研究)	計画、設計、作品作りをゼミ形式にて実施する。本校における学びの集大成としてその成果をまとめる。	60	2		○
	建築CAD専攻科目	3DCADの習得	1	前期			○	3DCAD I A	建築設計や建築生産に必要な三次元図面の制作技術を通して、多角的な設計技術などを学ぶ	30	1		○
			1	後期			○	BIM I A	BIMについての理解と関係ソフトの基礎的知識及び操作技術の向上を図る	30	1		○
		卒業成果のプレゼンテーション	2	前期			○	BIM II A	BIM手法を駆使し、作品制作や競技設計へ挑戦することで技術の向上を図る	60	2		○
			2	後期			○	BIM II B(卒業研究)	BIM手法を駆使し、作品制作や競技設計へ挑戦することで技術の向上を図る	60	2		○
	空間情報専攻			1	前期		○	測量に関する法規・国際条約 I A	「測量法」「測量法施行令」「測量法施行規則」に関する知識、基本測量、公共測量、基本測量及び公共測量以外の測量について学ぶ	30	2		○
				1	前期		○	測量に関する数学 I A	関数とグラフ、指数と対数、三角関数、ベクトル、微分法、積分法、行列について学ぶ	30	2		○
				1	前期		○	測量学概論 I A	測量・地図発達の歴史、わが国の測量体系、測量の基準、楕円体測地学の基礎、地球の物理と測量及び最新の測量技術を学ぶ	30	2		○
				1	前期		○	三角測量 I A	測定器械、選点、造標、埋標、水平角・鉛直角、距離の測定、平面直角座標計算、測量の成果について学ぶ	30	2		○
				1	前期		○	水準測量 I A	水準測量の概要および作業計画・準備、測定機器、観測、誤差、計算と成果表等の整理、作業管理について学ぶ	30	2		○
				1	前期		○	地形測量 I A	一般理論、細部図根点測量、細部測量、測量原図の調整、数値地形測量等について学ぶ	30	2		○
				1	前期		○	地図編集 I A	地図の分類、地図投影法、地形図読図、基図、編集における取捨選択、総描、転位、GISの概念等について学ぶ	30	2		○
				1	後期		○	測量に関する情報処理 I A	コンピュータシステム、ソフトウェア・ハードウェアの基礎、測量計算・地図情報処理などコンピュータによる解析作業を学ぶ	30	2		○
				1	後期		○	多角測量 I A	測定器械(トータルステーション及び汎地球測位航法衛星システム(GNSS)を含む)、選点、造標、埋標、水平角・鉛直角・天文方位角の観測、距離の測定、平面直角座標計算、三角・多角網平均計算(観測方程式法を含む)、測量の成果表について学ぶ	30	2		○
				1	後期		○	汎地球測位システム測量 I A	衛星測位システム(GNSS)の概念、GNSS測量の観測方式、観測法と解析方法について修得する。	30	2		○
				1	後期		○	写真測量 I A	一般理論、航空カメラ、図化機、標定点測量、空中写真測量、リモートセンシング、数値図化等について学ぶ	30	2		○
				1	後期		○	応用測量 I A	路線測量計画概論、中心線測量、曲線設置、現況測量、用地測量、縦横断測量、工事測量土量計算、河川測量計画概論、距離標の測量、河川縦横断測量、深淺測量、汀線測量、流速流量の測定等について学ぶ	30	2		○
				1	後期		○	地理情報システム I A	インターネット活用手段、属性データ作成のエクセル利用、GISソフトの操作方法とおよび利用する地図データについて投影法や座標系を理解させる。総合演習でGISソフトを使いこなす技術を修得する	30	2		○
				1	前期		○	土木一般 I A	施工計画のための調査と環境アセスメント、設計と積算、施工と施工管理、品質管理、資材管理、労務管理など、土木施工に関する実践的技術を修得する。	30	2		○
				1	前期		○	専門土木 I A	安全管理、工程管理、土工機械、掘削施工、運搬施工、盛土と締固め、基礎工、擁壁、トンネル、を内容とする講義により、土木施工に関する実践的技術を修得する。	30	2		○
				1	前期		○	土木施工法規 I A	建設業に関する「労働基準法」「労働安全衛生法」「建設業法」を軸に、土木施工管理技士に関する土木法規を学ぶ	30	2		○
				1	前期		○	共通工学 I A	契約・設計・電気・測量についての基礎的知識を学ぶ	30	2		○
				1	前期		○	施工管理法 I A	工程管理」「安全管理」「品質管理」「原価管理」などの各種工事と材料、構造等を通して「施工管理」のポイントを学ぶ	30	2		○
				2	前期		○	測量士試験対策ⅡA(法規・国際条約)	測量士試験に向けて法規・国際条約についての対策を行う	30	1		○
				2	前期		○	測量士試験対策ⅡA(多角測量)	測量士試験に向けて多角測量についての対策を行う	30	1		○
				2	前期		○	測量士試験対策ⅡA(GNSS測量)	測量士試験に向けてGNSS測量についての対策を行う	30	1		○
				2	前期		○	測量士試験対策ⅡA(水準測量)	測量士試験に向けて水準測量についての対策を行う	30	1		○
2				前期		○	測量士試験対策ⅡA(地形測量)	測量士試験に向けて地形測量についての対策を行う	30	1		○	
2				前期		○	測量士試験対策ⅡA(写真測量)	測量士試験に向けて写真測量についての対策を行う	30	1		○	
2				前期		○	測量士試験対策ⅡA(地図編集)	測量士試験に向けて地図編集についての対策を行う	30	1		○	
2				前期		○	測量士試験対策ⅡA(応用測量)	測量士試験に向けて応用測量についての対策を行う	30	1		○	
2				前期		○	測量士試験対策ⅡA(地理情報システム)	測量士試験に向けて地理情報システムについての対策を行う	30	1		○	
2				後期		○	測量士試験対策ⅡA(総合)	測量士試験に向けて総合的な対策を行う	60	2		○	
2				後期		○	測量士試験対策ⅡB(総合)	測量士試験に向けて総合的な対策を行う	60	2		○	
2				前期		○	卒業制作ⅡA	作品制作に挑戦することで技術の向上を図る	60	2		○	
2				後期		○	卒業制作ⅡB	作品制作に挑戦することで技術の向上を図る	60	2		○	
1				前期		○	AutoCAD I A	AutoCADの基本操作・各種設定・作図技術・印刷方法の習得	60	2		○	
1	後期		○	AutoCAD I B	AutoCADの基本操作・各種設定・作図技術・印刷方法の習得	60	2		○				
1	後期		○	土木施工対策ⅠA(土木工学等)	土木施工管理技士試験に向けて土木工学等の対策を行う	30	1		○				
1	後期		○	土木施工対策ⅠA(施工管理法)	測量士試験に向けて施工管理法についての対策を行う	30	1		○				
1	後期		○	土木施工対策ⅠA(法規)	測量士試験に向けて土木法規についての対策を行う	30	1		○				
		実務研修による現場能力の習得	1	後期		○	インターンシップ I A	机上で学んだことを現場で実践する	45	1		○	
		測量士の知識	1	前期		○	測量士 I A	測量士補試験を学習する	60	2		○	
			1	後期		○	測量士 I B	測量士補試験を学習する	60	2		○	

専攻	科目	学期	履修	単位数	備考	授業内容	単位数	履修	備考			
										履修	備考	
3専攻共通	測量士ⅡA	2	前期	○		測量士補試験を学習する	60	2	○			
		2	後期	○		測量士補試験を学習する	60	2	○			
	地域連携による課題解決力習得	課題解決学習ⅠA	1	前期	○		地域の関係企業と連携し建築・測量現場における課題調査、研究、提案を行う	30	1	○		
			1	後期	○		地域の関係企業と連携し建築・測量現場における課題調査、研究、提案を行う	30	1	○		
		課題解決学習ⅡA	2	前期	○		地域の関係企業と連携し建築・測量現場における課題調査、研究、提案を行う	30	1	○		
			2	後期	○		地域の関係企業と連携し建築・測量現場における課題調査、研究、提案を行う	30	1	○		
一般	3専攻共通	表現力ⅠA	1	前期	○		コミュニケーション授業や演劇を学び、自己表現力や社会性を身に付ける	30	1	○		
			1	前期	○		就職対策や早期退職防止の為にSPIや職業観について学ぶ	30	1	○		
		就職支援ⅠB	1	後期	○		就職対策や早期退職防止の為にSPIや職業観について学ぶ	30	1	○		
			2	前期	○		就職対策や早期退職防止の為にSPIや職業観について学ぶ	30	1	○		
		就職支援ⅡB	2	後期	○		就職対策や早期退職防止の為にSPIや職業観について学ぶ	30	1	○		
			1	前期	○		マーケティングの基本的な理論や手法を学び、マーケティングに関する体系的な理解を促し、マーケティングを進める上で必要なデータの取り扱いに関する知識・技能と観点を演習によって身につけ、データマーケターとしての基礎的素養を深める。	30	1	○		
		データマーケティングⅠB	1	後期	○		マーケティングの基本的な理論や手法を学び、マーケティングに関する体系的な理解を促し、マーケティングを進める上で必要なデータの取り扱いに関する知識・技能と観点を演習によって身につけ、データマーケターとしての基礎的素養を深める。	30	1	○		
			2	前期	○		企業が提示する課題に学生がチャレンジする(学科混合グループ編成)	30	1	○		
		2	後期	○		企業が提示する課題に学生がチャレンジする(学科混合グループ編成)	30	1	○			
		合計							98	科目	3705	単位時間

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
卒業要件：1700単位取得 GPA 2.0以上 必修科目を取得していること		1学年の学期区分	2期
選択必修科目： 【建築士専攻】「建築計画ⅠA」「建築計画ⅠB」「建築計画ⅡA」「建築環境工学ⅡA」「建築設備ⅡA」「建築法規ⅠA」「建築法規ⅠB」「建築法規ⅡA」「建築構造力学ⅠA」「建築構造力学ⅠB」「建築一般構造ⅠA」「建築一般構造ⅠB」「建築材料ⅠA」「建築材料ⅠB」「建築構造力学ⅡA」「建築施工ⅠA」「建築施工ⅠB」「建築設計製図ⅠA」「建築設計製図ⅠB」「建築設計製図ⅡA」 【建築CAD専攻】「建築計画ⅠA」「建築計画ⅠB」「建築計画ⅡA」「建築環境工学ⅡA」「建築設備ⅡA」「建築法規ⅠA」「建築法規ⅠB」「建築法規ⅡA」「建築構造力学ⅠA」「建築構造力学ⅠB」「建築一般構造ⅠA」「建築一般構造ⅠB」「建築材料ⅠA」「建築材料ⅠB」「建築構造力学ⅡA」「建築施工ⅠA」「建築施工ⅠB」「建築設計製図ⅠA」「建築設計製図ⅠB」「建築設計製図ⅡA」 【空間情報専攻】 「測量に関する法規・国際条約ⅠA」「測量に関する数学ⅠA」「測量学概論ⅠA」「三角測量ⅠA」「水準測量ⅠA」「地形測量ⅠA」「地図編集ⅠA」「測量に関する情報処理ⅠA」「写真測量ⅠA」「応用測量ⅠA」「地理情報システムⅠA」「土木一般ⅠA」「専門土木ⅠA」「土木施工法規ⅠA」「共通工学ⅠA」「施工管理法ⅠA」「測量士試験対策ⅡA(法規・国際条約)」「測量士試験対策ⅡA(多角測量)」「測量士試験対策ⅡA(GNSS測量)」「測量士試験対策ⅡA(水準測量)」「測量士試験対策ⅡA(地形測量)」「測量士試験対策ⅡA(写真測量)」「測量士試験対策ⅡA(地図編集)」「測量士試験対策ⅡA(応用測量)」「測量士試験対策ⅡA(地理情報システム)」「測量士試験対策ⅡA(総合)」「測量士試験対策ⅡB(総合)」「土木施工対策ⅠA(土木工学等)」「土木施工対策ⅠA(施工管理法)」「土木施工対策ⅠA(法規)」		1学期の授業期間	15週

カリキュラム編成表（授業科目等の概要）

令和6年度 工業専門課程（先端技術研究科）														
科目区分①	科目区分②	年次	学期	分類			授業科目名	授業科目概要	授業時数	単位数	授業方法			
				必修	選択必修	自由選択					講義	演習	実験・実習・実技	
専門		1	前期	○			実習研究IA	自身の研究テーマについて深く勉強する	180	6		○		
		1	後期	○			実習研究IB	自身の研究テーマについて深く勉強する	180	6		○		
		1	前期	○			研究ゼミIA	研究の成果を発表し、フィードバックをもらえます。	60	2		○		
		1	後期	○			研究ゼミIB	研究の成果を発表し、フィードバックをもらえます。	60	2		○		
		1	前期	○			作品制作IA	研究テーマに沿って、作品を制作します。	120	4		○		
		1	前期	○			作品制作IB	研究テーマに沿って、作品を制作します。	120	4		○		
		1	後期	○			卒業制作IA	チームで作品制作を行います。研究の成果をもって、学会などに参加します。	150	5		○		
		1	後期	○			卒業制作IB	チームで作品制作を行います。研究の成果をもって、学会などに参加します。	150	5		○		
一般		1	前期			○	技術の英語 IA	研究テーマに関連している英語を身につけます。	30	1		○		
		1	後期			○	技術の英語 IB	研究テーマに関連している英語を身につけます。	30	1		○		
合計								10 科目	1080 単位時間	36 単位				

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
卒業要件： 34単位かつ800授業時間以上取得 GPA 2.0以上 必修科目を取得していること		1 学年の学期区分	2 期
		1 学期の授業期間	15 週

カリキュラム編成表（授業科目等の概要）

令和6年度 工業専門課程（建築士研究科）

科目区分①	科目区分②	年次	学期	分類			授業科目名	授業科目概要	授業時数	単位数	授業方法		
				必修	選択必修	自由選択					講義	演習	実験・実習・実技
専門	一級建築士専攻	一次試験対策	1	前期		○	建築計画ⅢA(一級)	一級建築士の学科試験Ⅰ(計画)対策	30	2	○		
			1	前期		○	建築環境設備ⅢA(一級)	一級建築士の学科試験Ⅱ(環境設備)対策	30	2	○		
			1	前期		○	建築法規ⅢA(一級)	一級建築士の学科試験Ⅲ(法規)対策	90	6	○		
			1	前期		○	建築構造ⅢA(一級)	一級建築士の学科試験Ⅳ(構造)対策	90	6	○		
			1	前期		○	建築施工ⅢA(一級)	一級建築士の学科試験Ⅴ(施工)対策	60	4	○		
		1	前期		○	建築設計製図ⅢA(一級)	一級建築士の設計製図試験対策	300	10		○		
	二級建築士専攻	一次試験対策	1	前期		○	建築計画ⅢA(二級)	二級建築士の学科試験Ⅰ(計画)対策	60	4	○		
			1	後期		○	建築法規ⅢA(二級)	二級建築士の学科試験Ⅱ(法規)対策	60	4	○		
			1	前期		○	建築構造ⅢA(二級)	二級建築士の学科試験Ⅲ(構造)対策	60	4	○		
			1	前期		○	建築施工ⅢA(二級)	二級建築士の学科試験Ⅳ(施工)対策	60	4	○		
		1	前期		○	建築設計製図ⅢA(二級)	二級建築士の設計製図試験対策	300	10		○		
	共通	1	後期		○	卒業制作Ⅲ	作品制作に挑戦することで技術の向上を図る	60	2			○	
	一般		1	前期		○	有償インターンシップⅠA	机上で学んだことを現場で実践する	450	15			○
			1	後期		○	有償インターンシップⅠB	机上で学んだことを現場で実践する	450	15			○
合計								14 科目	2100 単位時間	88 単位			

卒業要件及び履修方法	授業期間等			
	卒業要件：800時間以上 GPA2.0以上 必修科目及び選択必修科目を取得していること	1学年の学期区分	2	期
		1学期の授業期間	15	週

カリキュラム編成表（授業科目等の概要）

		令和 6年度 商業実務専門課程 (Webクリエイター学科)																			
科目区分①	科目区分②	年次	学期	科目区分	分類			授業科目名	授業科目概要	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携		
					必修	選択必修	自由選択					講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任			
専門	IT活用の知識とビジネススキル	1	前期	専門	○			ITメディア概論ⅠA	IT技術・IT管理・ネットワーク・データ分析・セキュリティ・IT最新技術といった実務に必要な知識を学ぶ。ITパスポート試験の取得を目指す。	60	4	○			○			○			
		1	後期	専門	○			ITメディア概論ⅠB	IT技術・IT管理・ネットワーク・データ分析・セキュリティといった実務に必要な知識を学ぶ。ITパスポート試験の取得を目指す。	60	4	○			○			○			
		2	前期	専門	○			プレゼンテーションⅡA	パワーポイントの使い方から文章のまとめ方や訴える力など、プレゼンテーションに必要な基本的知識を身に付ける。	30	1		○		○				○		
	表現知識	1	前期	専門	○			カラーコーディネートⅠA	色彩理論の基本を学び、デザインに必要な色彩の考え方や発想を身につける。	60	2		○		○				○		
		1	後期	専門	○			カラーコーディネートⅠB	色彩理論の基本を学び、デザインに必要な色彩の考え方や発想を身につける。	60	2		○		○				○		
		2	前期	専門	○			Webデザイン技術ⅡA	Webを表現手段とするための知識と技術を学び、実践する。	60	2		○		○				○		
		1	前期	専門	○			デザイン概論ⅠA	ビジュアルコミュニケーションに必要とされるデザインの基礎を学ぶ。それを元にWEBデザイン・コンテンツデザイン・グラフィックデザイン・映像デザインのクオリティ向上につなげる。	30	2	○			○				○		
	制作能力	1	前期	専門	○			コンテンツデザインⅠA	デザイン専用ソフトウェアの操作方法を学び、仕事で扱う様々な画像や印刷物の作成をおこなう。	60	2		○		○				○		
		1	後期	専門	○			コンテンツデザインⅠB	デザイン専用ソフトウェアの操作方法を学び、仕事で扱う様々な画像や印刷物の作成をおこなう。	90	3		○		○				○		
		2	前期	専門	○			IPデザイン実践ⅡA	目的に合わせたデザイン表現を学び、クライアントワークを想定した様々なデザイン制作をおこなう。	60	2		○		○				○	○	
		2	後期	専門	○			IPデザイン実践ⅡB	デザイン技術の実践と、学びを可視化しそれを伝えるための卒業成果作品を制作する。	60	2		○		○					○	○
		1	前期	専門	○			Web演習ⅠA	HTML、CSSに関する基本的な知識を学び、様々なモバイルに対応するWeb作成スキルを身につける	60	2		○		○					○	
		1	後期	専門	○			Web演習ⅠB	HTML、CSSに関する基本的な知識を学び、様々なモバイルに対応するWeb作成スキルを身につける	60	2		○		○					○	
		2	前期	専門	○			Web演習ⅡA	各種ビジネスを想定したWebサイト、モバイルサイト作成を行う。	60	2		○		○					○	
		2	後期	専門	○			Web演習ⅡB	卒業制作活動のため、自分が受注した案件であるビジネスコンテンツとしてのモバイルサイト作成をおこなう。	60	2		○		○					○	
		1	前期	専門	○			ムービー制作ⅠA	様々な機器による撮影と編集技術を学ぶ。	60	2		○		○					○	
1		後期	専門	○			ムービー制作ⅠB	撮影と編集技術の実践活動として、コンテスト応募と学年課題制作をおこなう。	60	2		○		○					○		
Webクリエーター	2	前期	専門	○			ネットムービー演習ⅡA	目的に合わせた映像を作成し、有効利用する技術を学ぶ。	60	2		○		○					○	○	
	2	後期	専門	○			ネットムービー演習ⅡB	メディアの特性や目的に合わせた映像の作成と発信を学び、効果的なコンテンツを制作する手法を身につける。	60	2		○		○					○	○	

ネットビジネス実践	1	後期	専門	○		IPデザイン実践ⅠA	ポートフォリオ作成のため、企画制作をおこなう。1年次の学年成果物を完成させる。	30	1	○	○	○								
	2	前期	専門	○		ECビジネス演習ⅡA	Webメディアを利用したEC活動の実践を通して、実施に伴う手続きを理解し関係法令等を学ぶ。また運用における企画戦略手法や分析力を磨く	30	1	○	○	○								
	2	後期	専門	○		ECビジネス演習ⅡB	Webメディアを利用したEC活動の実践を通して、実施に伴う手続きを理解し関係法令等を学ぶ。また運用における企画戦略手法や分析力を磨く	30	1	○	○	○								
	2	前期	専門	○		プランニングⅡA	企業や団体等と連携し、質向上や課題解決するための活動をおこなう。これを通して効果的なプレゼンテーションや情報発信、レビューと報告について現場で学ぶ。	60	2	○	○	○	○							
	2	後期	専門	○		プランニングⅡB	企業や団体等と連携し、質向上や課題解決するための活動をおこなう。これを通して効果的なプレゼンテーションや情報発信、レビューと報告について現場で学ぶ。	60	2	○	○	○	○							
	制作実践	1	前期	専門	○		プランニングⅠA	地域の課題解決やイメージ向上をテーマとし、専門分野知識やスキルを活かした実践活動を行う。活動を通してチーム活動のやり方やスケジュール管理、報告手法などビジネスの基本を身につける。	60	2	○	○	○	○						
		1	後期	専門	○		プランニングⅠB	地域の課題解決やイメージ向上をテーマとし、専門分野知識やスキルを活かした実践活動を行う。活動を通してチーム活動のやり方やスケジュール管理、報告手法などビジネスの基本を身につける。	60	2	○	○	○	○						
		2	前期	専門	○		総合演習ⅡA	コンテンツ制作手法と表現方法、活用事例を学び、それらを効果的卒業制作に生かす手順について研究する。	60	2	○	○	○	○						
		2	後期	専門	○		総合演習ⅡB	企業活動に要求される顧客やビジネスパートナーとの関係やその利益を生み出す仕組みについて、具体的に検討し、卒業制作活動の実践を通して、それについての回答を導き出す。	60	2	○	○	○	○						
	職業人スキル インターンシップ	1	後期	一般	○		インターンシップⅠA	授業での学びを活かし、ビジネス現場での業務体験を行う。	45	1		○	○	○						
		1	前期	一般		○	就職支援ⅠA	「将来の仕事や人生についてどのように考えたら良いか」「将来の目標を実現するためには何が必要か」等、キャリアを考える上でヒントや気づきを得られるよう、様々な取り組みを行う。就職に向けて、必要な準備を段階的に進めていく。	30	1	○	○	○	○						
		1	後期	一般		○	就職支援ⅠB	「将来の仕事や人生についてどのように考えたら良いか」「将来の目標を実現するためには何が必要か」等、キャリアを考える上でヒントや気づきを得られるよう、様々な取り組みを行う。就職に向けて、必要な準備を段階的に進めていく。	30	1	○	○	○	○						
		2	前期	一般		○	就職支援ⅡA	「将来の仕事や人生についてどのように考えたら良いか」「将来の目標を実現するためには何が必要か」等、キャリアを考える上でヒントや気づきを得られるよう、様々な取り組みを行う。就職に向けて、必要な準備を段階的に進めていく。	30	1	○	○	○	○						
		2	後期	一般		○	就職支援ⅡB	「将来の仕事や人生についてどのように考えたら良いか」「将来の目標を実現するためには何が必要か」等、キャリアを考える上でヒントや気づきを得られるよう、様々な取り組みを行う。就職に向けて、必要な準備を段階的に進めていく。	30	1	○	○	○	○						
		1	前期	一般		○	データマーケティングⅠA	マーケティングの基本的な理論や手法を学び、マーケティングに関する体系的な理解を促し、マーケティングを進める上で必要なデータの取り扱いに関する知識・技能と観点を演習によって身につけ、データマーケターとしての基礎的素養を深める。	30	1	○	○	○	○						
1		後期	一般		○	データマーケティングⅠB	マーケティングの基本的な理論や手法を学び、マーケティングに関する体系的な理解を促し、マーケティングを進める上で必要なデータの取り扱いに関する知識・技能と観点を演習によって身につけ、データマーケターとしての基礎的素養を深める。	30	1	○	○	○	○							
意欲	1	前期	一般		○	表現力ⅠA	コミュニケーション授業や演劇を学び、自己表現力や社会性を身に付ける	30	1	○	○	○	○							
	2	前期	一般		○	課題解決チャレンジⅠA	企業が提示する課題に学生がチャレンジする(学科混合グループ編成)	30	1	○	○	○	○							
	2	後期	一般		○	課題解決チャレンジⅠB	企業が提示する課題に学生がチャレンジする(学科混合グループ編成)	30	1	○	○	○	○							

合計		38 科目	1875 単位時間	(67 (単位)
卒業要件及び履修方法			授業期間等	
卒業要件： 1700単位時間以上 GPA2.0以上 必修科目を取得していること			1 学年の学期区分	2 期
			1 学期の授業期間	15 週

		令和6年度 商業実務専門課程 (ホテル・ブライダル学科)														
専門・一般	分類	年次	学期	科目区分	必修	選択必修	自由選択	授業科目名	授業科目概要	授業時数	単位数	授業方法				
												講義	演習	実験・実習・実技		
専門	ホテルマンとして必要な知識と技術を習得する	1	前期	専門	○			ホテル概論ⅠA	ホテルに関する基本的知識を習得し、体系的にホテルを理解することを目的とする	30	2	○				
		1	後期	専門	○			ホテル概論ⅠB	ホテルに関する応用的知識を習得し、経営の立場からホテルを理解することを目的とする	30	2	○				
		2	前期	専門	○			ホテル概論ⅡA	ホテルに関する応用的知識を習得し、経営の立場からホテルを理解することを目的とする	30	2	○				
		1	前期	専門	○			FB実務ⅠA	レストラン運営を中心に地域の食材を使用したメニュー開発や調理・サービス方法、実務を学びます	60	2		○			
		1	後期	専門	○			FB実務ⅠB	レストラン運営を中心に地域の食材を使用したメニュー開発や調理・サービス方法、実務を学びます	60	2		○			
		2	前期	専門	○			FB実務ⅡA	レストラン運営を中心に地域の食材を使用したメニュー開発や調理・サービス方法、実務を学びます	60	2		○			
		2	後期	専門	○			FB実務ⅡB	レストラン運営を中心に地域の食材を使用したメニュー開発や調理・サービス方法、実務を学びます	60	2		○			
		1	前期	専門	○			ブライダル総論ⅠA	婚礼の流れや理由等を一連の作業を通して学び、実際に活用できることを目的とする	60	4	○				
		1	後期	専門	○			ブライダル総論ⅠB	婚礼の流れや理由等を一連の作業を通して学び、実際に活用できることを目的とする	60	4	○				
	2	前期	専門	○			ブライダル総論ⅡA	婚礼の流れや理由等を一連の作業を通して学び、実際に活用できることを目的とする	60	4	○					
	1	前期	専門	○			ホテル実用英語ⅠA	ホテル業で多用される会話表現と専門用語を学ぶ	30	1		○				
	1	後期	専門	○			ホテル実用英語ⅠB	ホテル業で多用される会話表現と専門用語を学ぶ	30	1		○				
	2	後期	専門			○	オンライン国際協働学習ⅡB	海外の学生と、共通のテーマで、データ活用をした課題解決学習を実践・発表する(英語使用)	30	1		○				
	1	前期	専門			○	TOEIC L&RⅠA	TOEICスコア600点を目指した語彙力、リスニング力の向上	30	1		○				
	1	後期	専門			○	TOEIC L&RⅠB	TOEICスコア600点を目指した語彙力、リスニング力の向上	30	1		○				
	2	前期	専門			○	TOEIC L&RⅡA	TOEICスコア600点を目指した語彙力、リスニング力の向上	30	1		○				
	1	前期	専門			○	TOEIC S&WⅠA	スピーキング・ライティングをととしてビジネスレベルの英会話力習得を目的とする	30	1		○				
	1	後期	専門			○	TOEIC S&WⅠB	スピーキング・ライティングをととしてビジネスレベルの英会話力習得を目的とする	30	1		○				
	2	前期	専門			○	TOEIC S&WⅡA	スピーキング・ライティングをととしてビジネスレベルの英会話力習得を目的とする	30	1		○				
	1	前期	専門	○			EIC L&SⅠA	実践的に聞く力と話す力が向上することを目的とする	60	2		○				
	1	後期	専門	○			EIC L&SⅠB	実践的に聞く力と話す力が向上することを目的とする	60	2		○				
	2	前期	専門	○			EIC L&SⅡA	実践的に聞く力と話す力が向上することを目的とする	60	2		○				
	1	前期	専門	○			サービス接遇ⅠA	お客様へのサービスの基本的テクニックや傾聴姿勢を習得する	30	1		○				
	1	後期	専門	○			サービス接遇ⅠB	お客様へのサービスの基本的テクニックや傾聴姿勢を習得する	30	1		○				
	2	前期	専門	○			サービス接遇ⅡA	お客様へのサービスの基本的テクニックや傾聴姿勢を習得する	30	1		○				
	2	後期	専門	○			サービス接遇ⅡB	お客様へのサービスの基本的テクニックや傾聴姿勢を習得する	30	1		○				
	2	前期	専門			○	フラワーアレンジメントⅡA	婚礼に必要な知識としてブライダルブーケの基本的テクニックを習得する	30	1		○				
	1	前期	専門			○	ブライダルビューティⅠA	婚礼に必要な知識としてブライダルヘアーの基本的知識を習得する	30	1		○				
	1	後期	専門			○	ブライダルビューティⅠB	婚礼に必要な知識としてブライダルメイクの基本的知識を習得する	30	1		○				
	1	後期	専門	○			ホテルブライダルマーケティングⅠB	新たな観光プランを創出することを目的とする	30	1		○				
	2	前期	専門	○			ホテルブライダルマーケティングⅡA	新たな観光プランを創出することを目的とする	30	1		○				
	2	後期	専門			○	ホテルブライダルマーケティングⅡB	新たな観光プランを創出することを目的とする	60	2		○				
	1	前期	専門			○	色彩ⅠA	色がもたらす影響や力、そして活用術を学び、実践できることを目指す	30	1		○				
1	後期	専門			○	色彩ⅠB	色がもたらす影響や力、そして活用術を学び、実践できることを目指す	30	1		○					
1	前期	専門	○			ウエディングスビューティフルⅠA	世界の婚礼の歴史から現代の婚礼まで、幅広い視点から婚礼演出を学ぶ	30	1		○					
1	後期	専門	○			ウエディングスビューティフルⅠB	世界の婚礼の歴史から現代の婚礼まで、幅広い視点から婚礼演出を学ぶ	60	2		○					
1	後期	一般			○	表現力ⅠB	コミュニケーション授業や演劇を学び、自己表現力や社会性を身に付ける	30	1		○					
現場力・実践力を身に付ける	2	後期	専門	○		インターンシップ(海外)ⅡB	海外にて実践的な英語の活用とマーケティング、イノベーションについて学ぶことを目的とする	450	10			○				
	2	後期	専門	○		インターンシップ(国内)ⅡB	授業で学んだホテル・ブライダルの知識を現場で実践躬行することを目的とする	180	4			○				

2	前期	一般		○ ICT演習ⅡA	企業において必須技能であるエクセル技術の演習を行う。 日常業務に必要な表計算・グラフ作成・関数の技術を身につける。	30	1		○
2	後期	一般		○ ICT演習ⅡB	企業において必須技能であるエクセル技術の演習を行う。 日常業務に必要な表計算・グラフ作成・関数の技術を身につける。	30	1		○
1	前期	一般		○ 表現力ⅠA	コミュニケーション授業や演劇を学び、自己表現力や社会性を身に付ける	30	1		○
1	前期	一般	○	就職支援ⅠA	「将来の仕事や人生についてどのように考えたら良いか」「将来の目標を実現するためには何が必要か」等、 キャリアを考える上でヒントや気づきを得られるよう、様々な取り組みを行う。就職に向けて、必要な準備を段階的に 進めていく。	30	1		○
1	後期	一般	○	就職支援ⅠB	「将来の仕事や人生についてどのように考えたら良いか」「将来の目標を実現するためには何が必要か」等、 キャリアを考える上でヒントや気づきを得られるよう、様々な取り組みを行う。就職に向けて、必要な準備を段階的に 進めていく。	30	1		○
2	前期	一般	○	就職支援ⅡA	「将来の仕事や人生についてどのように考えたら良いか」「将来の目標を実現するためには何が必要か」等、 キャリアを考える上でヒントや気づきを得られるよう、様々な取り組みを行う。就職に向けて、必要な準備を段階的に 進めていく。	30	1		○
1	前期	一般		○ データマーケティングⅠA	マーケティングの基本的な理論や手法を学び、マーケティングに関する体系的な理解を促し、マーケティングを進め る上で必要なデータの取り扱いに関する知識・技能と観点を演習によって身につけ、データマーケターとしての基礎 的素養を深める。	30	1		○
1	後期	一般		○ データマーケティングⅠB	マーケティングの基本的な理論や手法を学び、マーケティングに関する体系的な理解を促し、マーケティングを進め る上で必要なデータの取り扱いに関する知識・技能と観点を演習によって身につけ、データマーケターとしての基礎 的素養を深める。	30	1		○
2	前期	一般		○ 課題解決チャレンジⅡA	企業が提示する課題に学生がチャレンジする(学科混合グループ編成)	30	1		○
2	後期	一般		○ 課題解決チャレンジⅡB	企業が提示する課題に学生がチャレンジする(学科混合グループ編成)	30	1		○
合計					49 科目	2400 単位時間		82 単位)	

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
卒業要件： 61単位取得 GPA2.0以上 必修科目を取得していること 選択必修科目のどちらかを取得していること	1 学年の学期区分	2 期
	1 学期の授業期間	15 週

		令和6年度 商業実務専門課程（医療事務学科）									授業方法			
専門・一般		年次	学期	科目区分	分類			授業科目名	授業科目概要	授業時数	単位数	講義	演習	実験・実習・実技
					必修	選択必修	自由選択							
専門	医科の知識習得	1	前期	専門	○			医療保険制度ⅠA	医療保険制度について学ぶ	60	2	○		
		1	前期	専門	○			診療報酬請求（医科）ⅠA	医療現場での請求事務の流れや意義などについて学ぶ	120	4	○		
	調剤の知識習得	1	後期	専門	○			診療報酬請求（調剤）ⅠA	医師の処方に基づいて行われる調剤の仕組みを学ぶ	90	3	○		
	診療情報管理士の知識習得	1	後期	専門	○			医療情報学ⅠA	診療記録の電子化について学び、ITを活用した医療情報システムの現状を学ぶ	15	1	○		
	医事ソフト・パソコンスキル習得	1	後期	専門	○			医事コンピュータⅠA	診療請求書を実際に作成する時に使用する医療事務コンピュータの操作方法を学ぶ	90	3	○		
	マナー、接客能力	1	前期	専門	○			秘書実務基礎ⅠA	社会人として必要なビジネスマナーや心構えを学ぶ	60	2	○		
		1	後期	専門	○			秘書実務応用ⅠA	社会人として必要なビジネスマナーや心構えを学ぶ	30	1	○		
		1	後期	専門	○			総合演習ⅠA	地域連携を通して医療現場の課題、今後の対応について学ぶ	90	2			○
	実務研修	1	前期	専門	○			実習指導ⅠA	医療機関実習に出る前の心構えと基本的実習の流れを学ぶ	30	1	○		
		1	後期	専門	○			医療機関実習ⅠA	机上で学んだことを医療機関にて実践する	45	1			○
	歯科の知識習得	2	前期	専門	○			診療報酬請求（歯科）ⅡA	歯科医療事務の基本的知識と一般的な点数算定の原理原則を学ぶ	120	4	○		
	介護の知識習得	2	後期	専門	○			診療報酬請求（介護）ⅡA	介護報酬請求事務の仕組みを学び、高齢者サービスの実情を学ぶ	90	3	○		
	診療情報管理士の知識習得	2	前期	専門	○			医療管理総論ⅡA	医療制度の成り立ちと医療関連法規や医療提供システムを学ぶ	15	1	○		
		2	後期	専門	○			診療情報管理論ⅡA	診療録（カルテ）の記載項目の理解と管理体制の仕組みを学ぶ	60	2	○		
		2	後期	専門	○			人体構造・機能論ⅡA	解剖学・組織学といった人体の基本的仕組みを系統的学ぶ	15	1	○		
		2	後期	専門	○			臨床医学総論ⅡA	病気の原因・病態・診断・治療・予防・予後について人体の仕組みから学ぶ	15	1	○		
		2	後期	専門	○			医学用語ⅡA	診療録（カルテ）に記載される用語を学ぶ	15	1	○		
		2	前期	専門	○			医療概論ⅡA	医療と医学の歴史や社会的役割を総合的に学ぶ	15	1	○		
		2	後期	専門	○			臨床医学各論ⅡA	原因別、部位別等に分類されている各疾病の特徴や症状、治療法を学ぶ	30	2	○		
		2	後期	専門	○			臨床医学各論ⅡB	原因別、部位別等に分類されている各疾病の特徴や症状、治療法を学ぶ	45	3	○		
		2	後期	専門	○			医療統計学ⅡA	診療情報を管理・分析し、病院経営に役立てる様々な統計方法を学ぶ	15	1	○		
	ドクターズクラークの知識習得	2	後期	専門	○			ドクターズクラークⅡA	医師補助としてのカルテ入力方法とポイントを学ぶ	90	3	○		
	マナー、接客能力	2	前期	専門	○			秘書実務ⅡA	社会人として必要なビジネスマナーや心構えのより高度な考え方を学ぶ	30	1	○		
		2	後期	専門	○			ペン習字ⅡA	患者様対応に必要な不可欠なより美しい文字を書くための方法を学ぶ	30	1	○		
		2	後期	専門	○			卒業研究ⅡA	これまで学んだ内容や医療分野に関する課題を研究し、発表する	30	1	○		
	実務研修	2	前期	専門	○			医療機関実習ⅡA	机上で学んだことを医療機関にて実践する	90	2			○
		2	後期	専門	○			総合病院研究ⅡA	総合病院のシステムや業務内容を見学したことを分析し、発表する	45	1			○
	医事ソフト・パソコンスキル習得	1	前期	専門	○			ビジネスIT技術ⅠA	各職種において文書を作成するスキルは、必須である。本科目では、一般的ワープロソフトである「WORD」を使用し、様々な文書を速く正確に作成するスキルを学ぶ。	30	1	○		
		1	後期	専門	○			ビジネスIT技術ⅠB	各職種において文書を作成するスキルは、必須である。本科目では、一般的ワープロソフトである「WORD」を使用し、様々な文書を速く正確に作成するスキルを学ぶ。	30	1	○		
		2	前期	専門	○			ICT演習ⅡA	企業において必須技能であるエクセル技術の演習を行う。日常業務に必要な表計算・グラフ作成・データベースの技術を身につける。	30	1	○		
2		後期	専門	○			ICT演習ⅡB	企業において必須技能であるエクセル技術の演習を行う。日常業務に必要な表計算・グラフ作成・データベースの技術を身につける。	30	1	○			
2		前期	専門	○			ICT活用ⅡA	パワーポイントの使い方から文章のまとめ方や訴える力など、プレゼンテーションに必要な基本的知識を身に付ける。またVRを使用した次世代型プレゼンテーション方法についても学ぶ。	30	1	○			

医薬品登録販売者専攻	1	前期	専門	○	医薬品基礎ⅠA	医薬品の本質（食品との違いを含む）について学ぶ	90	3		○
	1	後期	専門	○	医薬品応用ⅠA	医薬品の本質（食品との違いを含む）について学ぶ	90	3		○
	1	前期	専門	○	薬学知識ⅠA	薬学知識の基礎と医療用語、病名等について学ぶ	30	2	○	
	1	後期	専門	○	薬学試験対策ⅠA	薬学検定3級に向けての試験対策を行う	45	3	○	
	2	後期	専門	○	診療報酬請求（調剤）ⅡA	医師の処方に基づいて行われる調剤の仕組みを学ぶ	90	3		○
	2	後期	専門	○	POP制作ⅡA	見やすいPOP広告を作成する技術を身に付ける	30	1		○
	1	前期	専門	○	実習指導ⅠA	店舗実習に出る前の心構えと基本的実習の流れを学ぶ	30	2	○	
	2	前期	専門	○	解剖・薬理学ⅡA	人体の基本的な成り立ちと疾病、病態について学ぶ	30	2	○	
	2	前期	専門	○	医薬品安全対策ⅡA	医薬品の安全対策や副作用について学ぶ	30	2	○	
	2	前期	専門	○	国家試験対策ⅡA	医薬品登録販売者試験に向けての対策を行う	90	3		○
	2	前期	専門	○	国家試験対策ⅡB	医薬品登録販売者試験に向けての対策を行う	90	3		○
	1	後期	専門	○	店舗実習ⅠA	机上で学んだことを現場にて実践する	360	8		○
	2	後期	専門	○	店舗実習ⅡA	机上で学んだことを現場にて実践する	360	8		○
		1	前期	一般	○	表現力ⅠA	コミュニケーション授業や演劇を学び、自己表現力や社会性を身に付ける	30	1	
1		前期	一般	○	就職支援ⅠA	就職対策や早期退職防止の為にSPIや職業観について学ぶ	30	1		○
1		後期	一般	○	就職支援ⅠB	就職対策や早期退職防止の為にSPIや職業観について学ぶ	30	1		○
2		前期	一般	○	就職支援ⅡA	就職対策や早期退職防止の為にSPIや職業観について学ぶ	30	1		○
2		後期	一般	○	就職支援ⅡB	就職対策や早期退職防止の為にSPIや職業観について学ぶ	30	1		○
1		前期	一般	○	データマーケティングⅠA	マーケティングの基本的な理論や手法を学び、マーケティングに関する体系的な理解を促し、マーケティングを進める上で必要なデータの取り扱いに関する知識・技能と観点を演習によって身につけ、データマーケターとしての基礎的素養を深める。	30	1		○
1		後期	一般	○	データマーケティングⅠB	マーケティングの基本的な理論や手法を学び、マーケティングに関する体系的な理解を促し、マーケティングを進める上で必要なデータの取り扱いに関する知識・技能と観点を演習によって身につけ、データマーケターとしての基礎的素養を深める。	30	1		○
2		前期	一般	○	課題解決チャレンジⅡA	表現力、分析力を活かして企業の課題解決に取り組む。クオリティよりもスピード感を重視し、レスポンスの速さを育む。いくつかの学科混合グループで課題に取り組み、異なる視点からアイデアを出すことにより、クリエイティビティを養う。	30	1		○
2		後期	一般	○	課題解決チャレンジⅡB	表現力、分析力を活かして企業の課題解決に取り組む。クオリティよりもスピード感を重視し、レスポンスの速さを育む。いくつかの学科混合グループで課題に取り組み、異なる視点からアイデアを出すことにより、クリエイティビティを養う。	30	1		○
合計					54 科目	3165 単位時間	(106 単位)			

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
卒業要件： 61単位以上取得(1710単位時間以上) GPA2.0以上 必修科目を取得していること		1学年の学期区分	2 期
		1学期の授業期間	15 週

		令和6年度 商業実務専門課程（診療情報管理士研究科）												
科目区分①	科目区分②	学期	科目区分	分類			授業科目名	授業科目概要	授業時数	単位数	授業方法			
				必修	選択必修	自由選択					講義	演習	実験・実習・実技	
専門	診療情報管理士研究科	基礎医学	前期	専門	○		臨床医学各論ⅢA	原因別、部位別等に分類されている各疾病の特徴や症状、治療法を学ぶ	45	3	○			
			後期	専門	○		臨床医学各論ⅢB	原因別、部位別等に分類されている各疾病の特徴や症状、治療法を学ぶ	45	3	○			
			後期	専門		○		試験対策演習ⅢA	診療情報管理士の試験合格に向けて演習問題等取り組む	90	3		○	
			後期	専門		○		試験対策演習ⅢB	診療情報管理士の試験合格に向けて演習問題等取り組む	90	3		○	
			前期	専門	○			基礎医学対策ⅢA	基礎医学の復習と試験に向けての対策を行う	60	2		○	
		専門医学	前期	専門	○			医療管理各論ⅢA	病院経営に重要な診療情報の活用に関するしくみを学ぶ	30	2	○		
			前期	専門	○			医療管理各論ⅢB	病院経営に重要な診療情報の活用に関するしくみを学ぶ	30	2	○		
			前期	専門	○			医療統計学ⅢA	診療情報を管理・分析し、病院経営に役立てる様々な統計方法を学ぶ	30	1		○	
			後期	専門	○			専門分野対策ⅢA	専門分野の復習と試験に向けての対策を行う	60	2		○	
		コーディングスキル	前期	専門	○			分類法ⅢA	ICD-10の各章に沿った分類と使用方法について学ぶ	60	2		○	
	後期		専門	○			分類法ⅢB	ICD-10の各章に沿った分類と使用方法について学ぶ	30	1		○		
	前期		専門	○			国際疾病分類概論ⅢA	国際疾病分類（ICD）の概要やその意義などについて学ぶ	30	1		○		
	前期		専門	○			DPC演習ⅢA	DPCの概要やその使用方法について学ぶ	30	1		○		
	接遇・マナー	前期	専門		○		秘書実務ⅢA	社会人として必要なビジネスマナーや心構えのより高度な考え方を学ぶ	30	1		○		
	実務研修	前期	専門	○			病院実習ⅢA	机上で学んだことを医療機関にて実践する	45	1			○	
		後期	専門	○			病院実習ⅢB	机上で学んだことを医療機関にて実践する	90	2			○	
		後期	専門	○			総合病院研究ⅢA	最先端の病院を見学し、研究・発表することにより診療情報管理のしくみや病院経営などについて学ぶ	45	1			○	
	PCスキル	前期	一般		○		ICT演習ⅢA	企業において必須技能であるエクセル技術の演習を行う。日常業務に必要な表計算・グラフ作成・データベースの技術を身につける。	30	1		○		
	一般		前期	一般		○		就職支援ⅢA	就職対策や早期退職防止の為にSPIや職業観について学ぶ	30	1		○	
			後期	一般		○		就職支援ⅢB	就職対策や早期退職防止の為にSPIや職業観について学ぶ	30	1		○	
合計								20	科目					

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
卒業要件：31単以上取得（840授業時間以上） GPA 2.0以上 必修科目を取得していること	1学年の学期区分	2 期
	1学期の授業期間	15 週

令和6年度 商業実務専門課程 (情報ビジネス学科)													
専門・一般	年次	学期	科目区分	分類			授業科目名	授業科目概要	授業時数	単位数	授業方法		
				必修	選択必修	自由選択					講義	演習	実験・実習・実技
デジタルマーケティング・リテラシー	2	前期	専門		○		デジタルマーケティングⅡA	WEBの基礎知識およびインターネットマーケティングの知識と運用方法を身につける。	30	1		○	
	2	前期	専門		○		デジタルマーケティングⅡB	WEBマーケティングの知識を活用し、実際にインターネットマーケティングを実践する。WEB解析を行い効果検証まで行う。	30	1		○	
マーケティング知識と地域経済への理解を深める	1	前期	専門		○		マーケティングⅠA (マーケティング基礎)	マーケティングの基本的考え方と活用事例を学ぶ	30	2		○	
	1	後期	専門		○		マーケティングⅠB (WEB広告マーケティング)	WEB広告のマーケティングの運用を学び、アナリティクスツールの基本操作を習得する	30	2		○	
	1	後期	専門		○		検定対策学習ⅠA	マーケティング検定等受検のための学習に取り組む	30	1			○
	2	後期	専門		○		検定対策学習ⅡA	各自が目指す検定(日商PC2級/リテールマーケティング検定/ネットマーケティング検定等)受検のための学習に取り組む	30	1			○
	2	前期	専門		○		顧客理解ⅡA	顧客理解の意義と活用事例を学ぶ	30	2		○	
	2	前期	専門		○		地域経済の作り方ⅡA	起業家・経営者層へのインタビュー実践を通じて、地域の課題をいかしたビジネスの作り方を学ぶ	30	2		○	
	2	前期	専門		○								
ビジネスに必要な英語力を身につける	1	前期	専門		○		TOEIC L&RⅠA	TOEICスコア450点を目指した語彙力、リスニング力の向上	30	1			○
	1	後期	専門		○		TOEIC L&RⅠB	TOEICスコア450点を目指した語彙力、リスニング力の向上	30	1			○
	2	前期	専門		○		TOEIC L&RⅡA	TOEICスコア450点を目指した語彙力、リスニング力の向上	30	1			○
	1	前期	専門		○		EIC L&SⅠA	実践的に聞く力と話す力が向上することを目的とする	60	2			○
	1	後期	専門		○		EIC L&SⅠB	実践的に聞く力と話す力が向上することを目的とする	60	2			○
	2	後期	専門		○		オンライン国際協働学習ⅡA	海外の学生と、共通のテーマでデータマーケティングを実施し、企画案をプレゼンする(英語使用)	60	2			○
マーケターに必要なコミュニケーション・プレゼンテーションスキルを身につける	1	前期	専門		○		ビジュアライゼーションⅠA (グラレコ)	情報整理力・可視化力・伝達力を高めるためにグラフィック・レコーディング(概念化)を習得する	30	1			○
	1	後期	専門		○		プレゼンテーションⅠA	パワーポイントの使い方、文章のまとめ方、自己紹介、プレゼン時の話し方まで、プレゼンテーションに必要な基本的スキルを身につける。	30	1			○
	2	後期	専門		○		リサーチ・コミュニケーションⅡA (ファシリテーション)	多様な立場からの意見を整理し、チームの合意形成を図るためのファシリテーションスキルとリーダーシップを身につける	30	1			○
	1	前期	専門		○		Photoshop/IllustratorⅠA	チラシやポスターなど広告物をデザインするためのPhotoshop/Illustratorの基礎スキルを身につける	30	1			○
	1	後期	専門		○		Photoshop/IllustratorⅠB	チラシやポスターなど広告物をデザインするためのPhotoshop/Illustratorの実践的スキルを身につける	30	1			○
データビジネス職に求められる知識と技能を身につける	1	後期	専門		○		DX入門ⅠA	DXが必要とされる国内外の社会変化とデジタル技術やデータ活用によってめざす社会のあり方やビジネスモデルを理解する	30	2			○
	1	前期	専門		○		リサーチメソッドⅠA	リサーチに必要な定性調査(記述式アンケート調査、インタビュー調査)の技法を身につける。	60	4			○
	1	後期	専門		○		リサーチメソッドⅠB	定量調査基礎: 基本的統計を理解し、エクセルを使用した数量データの調査・分析(相関分析)・グラフ作成力を身につける	60	4			○
	2	前期	専門		○		リサーチメソッドⅡA	定性調査実践: SNSやインターネット上の質的データを収集し、テキストマイニング分析等で可視化する手法を身につける	60	4			○
	2	後期	専門		○		リサーチメソッドⅡB	調査のニーズに応じて定性・定量分析を使いこなす力と、ビジネスで求められるレベルの分析レポートや提案資料をまとめる応用力を身につける	60	4			○
	1	前期	専門		○		ビジネス統計ⅠA	統計的視点をもってビジネスの動向を捉え、課題を発見するための基礎力を身につける	30	1			○
	2	後期	専門		○		情報リテラシーⅡA	情報取り扱いに関する法律や著作権の意義、仕組みを理解し、情報を扱う職業人としてのリテラシーを高める	30	2			○
現場力・実践力を身につける	2	前期	専門		○		卒業研究ⅡA	卒業にあたり、データマーケティングを活用した事業提案を発表する(Dream成果発表会等)	60	2			○
	1	前期	専門		○		フィールドワークⅠA	企業の販売活動を視察しながら、実データを使用した分析と販売促進案づくりを実践する	30	1			○
	1	後期	専門		○		課題解決学習ⅠA	地域課題をテーマに、リサーチし、アイデアをまとめ、外部向け報告発表を目指す	90	2			○
	2	後期	専門		○		課題解決学習ⅡA	地域課題をテーマに、リサーチし、アイデアをまとめ、ビジネスコンテスト出場を目指す	90	2			○
	1	後期	専門		○		インターンシップⅠA	ビジネス現場にて、顧客対応や販売、マーケティング、データマーケティングを学ぶ	120	3			○
	2	後期	専門		○		インターンシップⅡA	ビジネス現場にて、顧客対応や販売、マーケティング、データマーケティングを学ぶ	90	2			○

一般	1	前期	専門		○ ICT演習 I A	企業において必須技能であるエクセル技術の演習を行う。 日常業務に必要な表計算・グラフ作成・関数の技術を身につける。	30	1		○
	1	前期	一般		○ 表現力 I A	コミュニケーション授業や演劇を学び、自己表現力や社会性を身につける	30	1		○
	1	前期	一般		○ 就職支援 I A	「将来の仕事や人生についてどのように考えたら良いか」「将来の目標を実現するためには何が必要か」等、キャリアを考える上でヒントや気づきを得られるよう、様々な取り組みを行う。就職に向けて、必要な準備を段階的に進めていく。	30	1		○
	1	後期	一般		○ 就職支援 I B	「将来の仕事や人生についてどのように考えたら良いか」「将来の目標を実現するためには何が必要か」等、キャリアを考える上でヒントや気づきを得られるよう、様々な取り組みを行う。就職に向けて、必要な準備を段階的に進めていく。	30	1		○
	2	前期	一般		○ 就職支援 II A	「将来の仕事や人生についてどのように考えたら良いか」「将来の目標を実現するためには何が必要か」等、キャリアを考える上でヒントや気づきを得られるよう、様々な取り組みを行う。就職に向けて、必要な準備を段階的に進めていく。	30	1		○
	2	後期	一般		○ 就職支援 II B	「将来の仕事や人生についてどのように考えたら良いか」「将来の目標を実現するためには何が必要か」等、キャリアを考える上でヒントや気づきを得られるよう、様々な取り組みを行う。就職に向けて、必要な準備を段階的に進めていく。	30	1		○
	1	前期	一般	○	データマーケティング I A	マーケティングの基本的な理論や手法を学び、マーケティングに関する体系的な理解を促し、マーケティングを進める上で必要なデータの取り扱いに関する知識・技能と観点を演習によって身につけ、データメーカーとしての基礎的素養を深める。	60	2		○
	2	前期	一般		○ 課題解決チャレンジ II A	企業が提示する課題に学生がチャレンジし、分析力と表現力を養う。学科混合グループの協働を通じて、異なる視点からアイデアを出し、クリエイティビティを高める。	30	1		○
	2	後期	一般		○ 課題解決チャレンジ II B	企業が提示する課題に学生がチャレンジし、分析力と表現力を養う。学科混合グループの協働を通じて、異なる視点からアイデアを出し、クリエイティビティを高める。	30	1		○
合計							1770 単位時間	69	単位)	

卒業要件及び履修方法	授業期間等
卒業要件：67単位以上取得（1710単位時間以上） GPA 2.0以上 必修科目、選択必修科目を取得していること	1 学年の学期区分 2 期
	1 学期の授業期間 15 週

インターナショナルビジネス 学科

カリキュラム編成表
令和6年度入学生用 商業実務専門課程 (インターナショナルビジネス学科)

科目区分①	科目区分②	年次	学期	科目区分	分類			授業科目名	授業科目概要	授業時間	単位数	授業方法				
					必修	選択必修	自由選択					講義	演習	実験・実習・実技		
インターナショナルビジネス専攻	日本語能力	1	前期	専門	○			JLPT I A	レベル別にクラス分けし、文章で漢字語彙を増やすユニット学習をアプリ活用の反転学習手法でレベルアップを図る。毎回のテストと定期的なPJGテストを活用し常にレベルを確認する。Advancedクラス目標：JLPT N1、Bridgeクラス目標：JLPT N2	60	2		○			
		1	後期	専門	○			JLPT I B	レベル別にクラス分けし、文法のトレーニングをアプリ活用の反転学習手法で学習する。それと平行して読解・聴解の具体的な解法を学ぶことで得点率を60% (合格圏) まで引き上げる。Advancedクラス目標：JLPT N1、Bridgeクラス目標：JLPT N2	60	2		○			
		2	前期	専門	○				JLPT II A	レベル別にクラス分けし、文章で漢字語彙を増やすユニット学習をアプリ活用の反転学習手法でレベルアップを図る。毎回のテストと定期的なPJGテストを活用し常にレベルを確認する。Advancedクラス目標：JLPT N1、Bridgeクラス目標：JLPT N2	60	2		○		
		2	後期	専門	○				JLPT II B	レベル別にクラス分けし、文法のトレーニングをアプリ活用の反転学習手法で学習する。それと平行して読解・聴解の具体的な解法を学ぶことで得点率を60% (合格圏) まで引き上げる。Advancedクラス目標：JLPT N1、Bridgeクラス目標：JLPT N2	60	2		○		
	ビジネス日本語	1	前期	専門	○				ビジネス日本語 I A	ビジネス・リタラシーの基本についての知識・理解を深め、読む、聞く、書く、話すの4技能をバランスよく演習しながら、ビジネス日本語の基礎力構築を図る。	60	4	○			
		1	後期	専門	○				ビジネス日本語 I B	I Aで学んだビジネス・リタラシーの基本についての知識・理解をさらに深め、日本語運用能力(4技能)の充実を図るとともに、模擬試験問題や演習問題を通して次年度のビジネス能力検定受験に向けての準備を進める。	60	4	○			
	ビジネス英会話	1	前期	専門	○				ビジネス英会話 I A	期首プレースメント・テストによる2レベル編成とし、聴解・読解・ボキャビル・文法を中心とした演習およびRecitation(発表)を通して、英語によるコミュニケーションの基礎力(聴解・読解)を養成する。期中と期末にAchievement TestによるPerformance測定を行う。	60	2		○		
		1	後期	専門	○				ビジネス英会話 I B	期首プレースメント・テストによる2レベル編成とし、聴解・読解・ボキャビル・文法を中心とした演習およびRecitation(発表)を通して、英語によるコミュニケーションの基礎力(聴解・読解)の充実をはかる。基礎クラス期末目標(L/R)：TOEIC Bridge120点、TOEIC310点。応用クラス期末目標(L/R)：TOEIC Bridge150点、TOEIC470点。	60	2		○		
		2	前期	専門	○				ビジネス英会話 II A	期首プレースメント・テストによる2レベル編成とし、模擬試験問題の徹底演習を通して、英語によるコミュニケーションの応用力(聴解・読解・発話)を養成する。期中と期末にAchievement TestによるPerformance測定を行う。	60	2		○		
		2	後期	専門	○				ビジネス英会話 II B	個々の学生に合わせて、以下の2レベル編成とし、模擬試験問題の徹底演習とPresentationを通して、英語によるコミュニケーション応用力(聴解・読解・発話)の充実をはかる。基礎クラス期末目標(L/R)：TOEIC Bridge140点、TOEIC400点。応用クラス期末目標(L/R)：TOEIC Bridge170点、TOEIC700点。	60	2		○		
	ビジネス日本語	2	前期	専門	○				ビジネス日本語 II A	音読とシャドーイングの徹底訓練により、ビジネス・リタラシーの基本についての知識・理解をより強固なものとするとともに、日本語運用能力(4技能)の充実をはかり、ビジネス能力検定の7月受験(3級)の準備を進める。	60	4	○			
		2	後期	専門	○				ビジネス日本語 II B	音読とシャドーイングの徹底訓練により、ビジネス・リタラシーの基本についての知識・理解をより強固・確実なものとするとともに、日本語運用能力(4技能)のさらなる充実をはかり、ビジネス能力検定の12月受験(3級・2級)の準備を進める。	60	4	○			
	日本語能力	1	前期	専門	○				日本語演習 I A	日本語コミュニケーションの実際の場面を想定した場面シラバスを中心に、様々な場面で日本語使用に対応できる力をつけるためのトレーニングを行う。	30	1		○		
		2	前期	専門	○				日本語演習 II A	ビデオセッションやインタビュースタックを通して日本人とのコミュニケーションを図るトレーニングを行い、あらゆる場面に対応できる日本語力を養う。	30	1		○		
	マーケティング	1	前期	専門	○				マーケティング概論 I A	市場調査や商品開発などマーケティングに関する基本的な考え方や知識を習得する。ケース・スタディの活用や、基礎用語の確認テストを行うことで、より理解を深めマーケティングに対する関心を高める。	30	2	○			
		1	後期	専門	○				マーケティング概論 I B	実際のビジネスケースを使用し、簡単なレポート課題やクイズを行うことで、マーケティング理論の実践方法・活用方法を学ぶ。また、授業は講義形式ではあるが、グループワークを取り入れ、課題の分析や解決方法の理解を深める。	30	2	○			
		1	後期	専門	○				マーケティング実践演習 I A	ビッグデータの分析や活用方法をPOSデータやドールフィンアイなどを用いて学ぶ。	60	2		○		
		1	後期	専門	○				マーケティング実践演習 I B	ビッグデータを活用し、課題解決の提案を行う	60	2		○		
		2	後期	専門	○				ビジネスモデル演習 II A	マーケティングに関する知識を基に、社会課題解決につながる「収益を獲得できるビジネスモデル」を如何につくるのか、その基礎を学ぶ。スタートアップやソーシャルビジネスの事例を参考に戦略モデルを中心に実践的に学び、起業家の視点を持てるようにする。	30	1		○		
	サービス接遇	1	前期	専門	○				サービス接遇 I A	ペアやグループによるワーク演習を繰り返しながら、サービス接遇についての基本的理解を深め、基本的なサービスで求められる知識を習得し理解を深める。	60	2		○		
		1	後期	専門	○				サービス接遇 I B	プレゼンテーションを重視した演習を繰り返しながら、サービス接遇の実践的実務についての知識・理解を深め、サービスの現場で求められる高度な知識とスキルを習得する。	60	2		○		
	インターンシップ	2	後期	専門	○				企業実習	企業での実習を通して、現場での経験値を高め、業界・企業・職種の理解を深める。	45	1			○	
	ICTスキル	1	前期	専門	○				ICT演習(文書作成) I A	一般的なワープロソフトである「Word」を使用し、文字入力や基本的な文書作成を学ぶ。挿入用語の確認を通し、日本語版のWordの理解を深める。また、制限時間を設けたタイピングテストを行うことで、日本語の文字入力を素早く正確にできるレベルまで引き上げる。	30	1		○		
		1	後期	専門	○				ICT演習(文書作成) I B	「Word」の応用的な操作を学ぶ。画像や図形をはじめとするグラフィック要素の使用や、複合的な操作を身につける。タイピングのテストやゲーム、様々な文書の作成を繰り返し行うことで、ワープロ検定3級に合格できるレベルまで引き上げる。	30	1		○		
		2	前期	専門	○				ICT演習(データ活用) II A	企業で広く使用されている「Excel」を使用し、表の作成、データ入力、関数について学ぶ。日商PC検定の出題ポイントを押さえた演習問題や、動画を視聴して予習をする反転授業を取り入れることで、より理解度を高めるトレーニングを行う。	30	1		○		
		2	後期	専門	○				ICT活用(データ活用) II B	パワーポイントを用いたプレゼンテーション技法の基礎を習得する。	30	1		○		
		2	前期	専門	○				ICT活用 II A	パワーポイントを用いた実践的プレゼンテーション技法を習得する。	30	1		○		
		2	後期	専門	○				ICT活用 II B	パワーポイントを用いた実践的プレゼンテーション技法を習得する。	30	1		○		
	簿記会計	1	後期	専門	○				簿記・会計 I A	簿記を通して会計職、一般職等に必要財務知識を習得する。	60	2		○		
		2	前期	専門	○				簿記・会計 II A	会計職、一般職等に必要財務知識を習得する。問題を演習し、正答率とスピードを上げ、全経簿記3級に合格できるレベルまで引き上げる。	60	2		○		
	一般	マネジメント	2	前期	専門	○			サービスマネジメント II A	宿泊・飲食・物販等のサービス業におけるマネジメントの基礎(考え方・専門用語等)について学ぶ	30	1	○			
			2	後期	専門	○			サービスマネジメント II B	宿泊・飲食・物販等のサービス業におけるマネジメントの基礎(考え方・専門用語等)について学ぶ	30	1	○			
			2	前期	専門	○			サービスマネジメント演習 II A	宿泊・飲食・物販等のサービス業におけるマネジメントスキルについて、職業体験(インターンシップ)を通して実践的に体験し学ぶ	30	1		○		
			2	後期	専門	○			サービスマネジメント演習 II B	宿泊・飲食・物販等のサービス業におけるマネジメントスキルについて、職業体験(インターンシップ)を通して実践的に体験し学ぶ	30	1		○		
		表現力	1	前期	一般	○			表現力 I A	コミュニケーション授業や演習を学び、自己表現力や社会性を身につける	30	1		○		
		課題解決	2	前期	一般	○			課題解決チャレンジ II A	企業が提示する課題に学生がチャレンジする	30	1		○		
		課題解決	2	後期	一般	○			課題解決チャレンジ II B	企業が提示する課題に学生がチャレンジする	30	1		○		
		キャリア支援	1	前期	一般	○				就職支援 I A	自分自身で目標を立て、目標実現に向け取り組むことを意識していく。また、クラスの一人としての意識を持ち、関与できるよう様々な取り組みを行っていく。	30	1		○	
			1	後期	一般	○				就職支援 I B	将来の仕事や人生についてどのように考えたらいいか、「将来の目標を実現するためには何が必要か」等、キャリアを考える上でヒントや気づきを得られるよう、様々な取り組みを行う。就職に向けて、就職に必要な準備を段階的に進めていく。	30	1		○	
			2	前期	一般	○				就職支援 II A	自分自身で目標を立て、目標実現に向け取り組むことを意識していく。また、様々な活動を通して、他者と協調・協働して行動できる力を身につける。就職に必要な業界知識を知る。	30	1		○	
	2		後期	一般	○				就職支援 II B	前期に引き続き、様々な活動を通して、他者と協調・協働して行動できる力を身につける。就職に必要な基礎知識を再学習する。	30	1		○		
	合計								41 科目	1785 授業時間	69	単位				
卒業要件及び履修方法										授業期間等						
卒業要件：必修科目 6 7 単位(1725 授業時間)取得、GPA 2.0以上										1 学年の学期区分		2	期			
										1 学期の授業期間		15	週			

カリキュラム編成表(授業科目等の概要)

令和6年度 文化・教養専門課程(日本語学科1年半課程)													
科目区分①	科目区分②	年次	学期	分類			授業科目名	授業科目概要	授業時数	単位数	授業方法		
				必修	選択必修	自由選択					講義	演習	実験・実習・実技
専門	日本語の運用基礎能力を習得する	1	後期	○			総合日本語ⅠA	読む、聞く、書く、話すの4技能をバランスよく練習し、初級の基礎力構築を図る。特に文法の定着を図る。	300	20	○		
		2	前期	○			総合日本語ⅡA	読む、聞く、書く、話すの4技能をバランスよく練習し、中級の基礎力構築を図る。	120	8	○		
	日本語の総合的な運用能力を習得する	2	後期	○			総合日本語ⅡB	読む、聞く、書く、話すの4技能をバランスよく練習し、中級の基礎力構築を図る。	120	8	○		
		2	前期	○			聴解ⅡA	中級聴解能力を習得させ、日本語能力試験、日本留学試験聴解試験での高得点獲得を目指す。	60	4	○		
		2	後期	○			聴解ⅡB	中級聴解能力を習得させ、日本語能力試験、日本留学試験聴解試験での高得点獲得を目指す。	60	4	○		
		2	前期	○			読解ⅡA	中級読解能力を習得させ、日本語能力試験、日本留学試験読解試験での高得点獲得を目指す。	60	4	○		
		2	後期	○			読解ⅡB	中級読解能力を習得させ、日本語能力試験、日本留学試験読解試験での高得点獲得を目指す。	60	4	○		
		2	前期			○	作文ⅡA	中級記述能力を習得させ、日本留学試験小論文試験、大学小論文試験での高得点獲得を目指す。	30	2	○		
		2	後期			○	作文ⅡB	中級記述能力を習得させ、日本留学試験小論文試験、大学小論文試験での高得点獲得を目指す。	30	2	○		
		2	前期			○	会話ⅡA	中級発話能力を習得させ、日常生活は勿論、大学・専門学校入試における面接試験で評価される会話を身に付ける	30	2	○		
		2	後期			○	会話ⅡB	中級発話能力を習得させ、日常生活は勿論、大学・専門学校入試における面接試験で評価される会話を身に付ける	30	2	○		
	日本語学習サポート	1	後期			○	初級作文ⅠA	総合日本語ⅠAと連動し、身近な話題について書く練習をして、日本語基礎能力を上げる	30	2	○		
		1	後期			○	漢字トレーニングⅠA	基礎漢字1000字をマスターする。	30	2	○		
		2	前期			○	能力試験対策ⅡA	能力試験対策に特化した授業	30	2	○		
		2	後期			○	能力試験対策ⅡB	能力試験対策に特化した授業	30	2	○		
		2	前期			○	漢字トレーニングⅡA	中級漢字1500字をマスターする。	30	2	○		
	基礎教養科目の基礎力・応用力を養成する	1	後期			○	日本事情ⅠA	日本社会を生きる上での基礎的教養を身につけると同時に、総合科目の基礎力をつける。	30	2	○		
	生活に適應できる日本語能力を養成する	1	後期			○	生活日本語ⅠA	・日本での生活に必要な最低限の日本語を身につける ・地域に関心を持ち、地域連携活動に参加することで、コミュニケーション基礎力をつける。	60	4	○		
	進学するための情報収集と未来設計を日本語を使って行う	2	前期			○	実践日本語ⅡA	・進学に必要な文書の読解と文書作成のスキルを習得する。 ・地域活動を通して、フィールドワークに必要な総合的なコミュニケーション能力を身につける。	60	4	○		
		2	後期			○	実践日本語ⅡB	進学に必要な文書の読解と文書作成のスキルを習得する。 ・地域活動を通して、フィールドワークに必要な総合的なコミュニケーション能力を身につける。	60	4	○		
合計							20 科目	1260 単位時間	(84 単位)				

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
卒業要件：1200単位時間以上取得 ※単位でなく時間のみ GPA 該当なし 必修科目を取得していること	1 学年の学期区分	2 期
	1 学期の授業期間	18 週

別表(3-1)

学 費

■1 学年

	情報システム学科		Webクリエイター学科		ホテル・ブライダル学科		医療事務学科	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
入学金	200,000		200,000		200,000		200,000	
授業料	295,000	295,000	295,000	295,000	295,000	295,000	295,000	295,000
施設設備費	70,000	70,000	70,000	70,000	70,000	70,000	70,000	70,000
演習充実費	60,000	60,000	60,000	60,000	60,000	60,000	60,000	60,000
合 計	615,000	415,000	615,000	415,000	615,000	415,000	615,000	415,000

	診療情報管理士研究科		インターナショナルビジネス学科		建築・デザイン学科		公務員学科	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
入学金	200,000		200,000		200,000		200,000	
授業料	295,000	295,000	295,000	295,000	295,000	295,000	295,000	295,000
施設設備費	70,000	70,000	70,000	70,000	70,000	70,000	70,000	70,000
演習充実費	110,000	110,000	60,000	60,000	60,000	60,000	60,000	60,000
合 計	665,000	465,000	615,000	415,000	615,000	415,000	615,000	415,000

	情報ビジネス学科		先端技術研究科		建築士研究科	
	前期	前期	前期	後期	前期	後期
入学金	200,000		200,000		200,000	
授業料	295,000	295,000	147,500	147,500	147,500	147,500
施設設備費	70,000	70,000	70,000	70,000	70,000	70,000
演習充実費	60,000	60,000	60,000	60,000	60,000	60,000
合 計	615,000	415,000	477,500	277,500	477,500	277,500

■2 学年

	情報システム学科		Webクリエイター学科		ホテル・ブライダル学科		医療事務学科	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
入学金								
授業料	295,000	295,000	295,000	295,000	295,000	295,000	295,000	295,000
施設設備費	70,000	70,000	70,000	70,000	70,000	70,000	70,000	70,000
演習充実費	110,000	110,000	110,000	110,000	110,000	110,000	110,000	110,000
合 計	465,000	465,000	465,000	465,000	465,000	465,000	465,000	465,000

	インターナショナルビジネス学科		建築・デザイン学科		情報ビジネス学科	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期
入学金						
授業料	295,000	295,000	295,000	295,000	295,000	295,000
施設設備費	70,000	70,000	70,000	70,000	70,000	70,000
演習充実費	110,000	110,000	110,000	110,000	110,000	110,000
合 計	465,000	465,000	465,000	465,000	465,000	465,000

★日本語学科 1 学年

1 年半課程		2 年課程	
前期	後期	前期	後期
	200,000	200,000	
	240,000	240,000	240,000
	440,000	440,000	240,000

※諸経費として入学時 120,000 円、その後毎期 50,000 円が必要です。

日本語学科 2 学年

	1 年半課程及び 2 年課程	
	前期	後期
入学金		
授業料	240,000	240,000
合 計	240,000	240,000

※諸経費として毎期 50,000 円が必要です。